

平成24年度

—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—

豊かな環境づくり大阪行動計画

平成24年6月

豊かな環境づくり大阪府民会議

はじめに ～ 計画の背景と構成 ～

1992年（平成4年）6月に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催され、人類が21世紀に向けて持続可能な発展をめざす行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。その中では、各地方自治体において、当該地域住民が主体の地球環境保全に向けた行動計画である「ローカルアジェンダ21」の策定が求められています。

大阪府では「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざして、平成6年3月に「大阪府環境基本条例」を制定するとともに、同年11月に「豊かな環境づくり大阪府民会議」を発足いたしました。

府民会議では、平成7年6月に「地球環境保全行動指針―身近な環境 愛する心と行動が地球環境を守る」を策定するとともに、平成8年6月には、実践活動を具体的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画―地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21―」を策定しました。この「行動計画」では、府民会議構成団体の具体的な実践活動を体系化するとともに、情報交流や活動を奨励・支援する事業を盛り込み、年度毎の計画の点検・更新を定めています。

今年度の行動計画においては、昨年度に引き続き、「低炭素社会への転換」、「循環型社会の構築」、「自然と調和したまちづくり」の3つを共通テーマに掲げて、豊かな環境づくりを進めてまいります。

また、共通テーマに基づき府民会議が主体となって取り組む重点行動のテーマに、今年度は「家庭や学校・職場における省エネの取組みの推進」を掲げ、様々な事業を通じて、省エネルギーに向けた府民の意識啓発や実践行動の促進に努めてまいります。とりわけ、昨年が発生した東日本大震災の影響により、節電に対する社会的要請が強まっていることから、府内において積極的に節電に取り組んでいる店舗を「節電チャレンジSHOP」として紹介する事業を充実させるなど、節電に焦点を当てた取組みを展開していく予定です。

さらに、府民会議の各構成団体においても、3つの共通テーマに沿って設定した30項目の重点行動の中から各構成団体が自主的に選択した取組みを今年度も実施してまいります。節電に関しましても、府民や事業者に対する節電方法の周知・啓発等に取り組んでいく予定です。特に平成24年度の夏は、厳しい電力需給の見通しを受け、府民会議としても一層の節電に取り組めます。

目 次

【本 編】

第1章 基本理念・目標

- 1 平成24年度の府民会議の活動方針について 1

第2章 実践活動

- 1 平成24年度の府民会議主体の実践活動 3
2 平成23年度の府民会議主体の活動の報告 7
3 府民会議構成団体の活動 17

【資料編】

- 地球環境保全行動指針 41
大阪21世紀の新環境総合計画（概要） 51
大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況 53
豊かな環境づくり大阪府民会議規約 67
豊かな環境づくり大阪府民会議委員名簿 68
豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先 70
豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過 72
かんきょう交流Roomのご案内 77

【本編】

第1章 基本理念・目標

1 平成24年度の府民会議の活動方針について

都市・生活型公害や地球環境問題など、社会経済システムやライフスタイルに起因する今日の環境問題を解決するためには、府民、事業者、行政がそれぞれの立場に応じて豊かな環境の保全と創造に資する自主的な活動に主体的に取り組むことが重要となっています。

このため、豊かな環境づくり大阪府民会議では、年度ごとに行動計画を策定して、豊かな環境づくりに向けた行動を方向づけるとともに、①調整・連携する、②意見交換する、③創造する、といった「3つのC」（※下記参照）の役割を担うことにより、各主体の自覚による豊かな環境づくりに向けた行動が定着した社会の実現を目指しています。

※「3つのC」とは

Coordinate	調整・連携する
Communicate	意見交換する
Create	創造する

また、豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境問題などの解決に向けて、構成団体が共通認識のもとに、効果的に取り組みを進めていくため、特に取り組む課題として“共通テーマ”を掲げ、その共通テーマの実現に向けた具体的な行動として、府民会議構成団体が協働して取り組む“重点行動”を設定しています。

“共通テーマ”は、基本理念に基づいて、①環境をめぐる社会的状況から行動を起こしていく必要性、緊急性が認められるもの、②行動の輪を府民、事業者に広げていくことが求められるもの、③府民会議の構成団体が共通認識のもとに具体的な行動を独自におこしていくことが可能なもの、という3つの観点から設定しています。

そして、共通テーマの実現に向けた具体的な取組みとして、“重点行動”（30項目）を設定し、府民会議構成団体が率先して取り組むとともに、広く府民に対して啓発普及を図っています。

また、府民会議が主体となって取り組んだ場合に効果が大きいと思われるものに焦点をあて、「府民会議が主体となって取り組む重点行動」として関連する事業を展開しています。

豊かな環境づくり大阪行動宣言

—地球環境保全行動指針に基づき、豊かな環境づくりに向けて行動を起こすことを宣言します。—

身近な環境を歩いて、見て、感じ、私たちの環境がどのようなものであればよいのかを考え、自らの日々の活動との関わりを見つめて、行動目標を定めます。

豊かな環境づくりに向けた行動目標の実現を目指し、具体的な実践活動に取り組むとともに、行動の輪を府民、事業者に広げていきます。

行動した結果を点検するとともに、情報交流や環境学習などを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動がより創意工夫に富んだものに改善されるよう努めます。

基本理念

環境に配慮した暮らし・事業活動

大阪における高度な経済活動・都市活動は、地域の環境はもとより、地球環境に対しても重大な影響を与えています。

私たちの日常生活様式や事業活動が、環境に影響を与えていることを十分認識し、資源・エネルギーの消費を抑制するとともに、循環的な利用の徹底等によって、環境への負荷を低減するため、行動します。

自然と共生する社会づくり

自然は、生態系の保全、都市の気候緩和、憩い・やすらぎの場の提供など、様々な恵みを私たちに与えてくれています。

自然の一員である私たちは、自らの命・生活・心のよりどころである自然を地球的な視野にたつて守り育て、自然と人とが共生する社会づくりに向けて、行動します。

ゆとりと潤いのある 美しいまちづくり

大阪では、新たな交流の時代を迎えて、生活環境の質を高め、世界都市にふさわしい魅力と個性、風格を備えたまちづくりが求められています。

豊かで潤いのある緑や水辺の空間を確保し、美しい景観を創造するとともに、歴史的・文化的遺産が保全・活用された大阪らしい文化の香りあふれるまちを形成するため、行動します。

平成24年度 共通テーマ

低炭素社会への転換

前年度に引き続き、化石エネルギー依存から脱却し、地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出抑制を徹底する“低炭素社会”への転換を図るため、ビジネススタイルやライフスタイルの変革に繋がる取組みを進めていきます。

循環型社会の構築

前年度に引き続き、廃棄物の発生抑制や資源の循環的な利用等により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減するため、一人ひとりのライフスタイルや社会経済活動の転換に向けた取組みを進めていきます。

自然と調和したまちづくり

前年度に引き続き、都市化が進んだ大阪において、各主体の協働のもと、身近な自然環境を保全・再生し、豊かな水辺環境やみどりなどの空間を確保することによって、生物の多様性が保たれ、ヒートアイランド現象が緩和される、自然と調和した地域づくりに向けた取組みを進めていきます。

府民会議構成団体に取り組む30の重点行動

I グリーン購入の推進

- 1 エコマーク商品や大阪府認定リサイクル製品など環境にやさしい商品優先的に購入する。
- 2 トレイ容器を使用しない商品や詰め替え商品、はかり売り商品などを選ぶ。
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋を受け取らない。
- 4 職場などで使用する事務用品等のグリーン購入を徹底する。
- 5 環境にやさしい商品の開発、販売や環境ラベリングの表示を促進する。

II ごみ減量化・リサイクルの推進

- 6 簡易包装の徹底や、古着・中古品等のリユースにより、ごみの発生を抑制する。
- 7 分別を徹底し、集団回収や店頭回収、市町村の分別収集に協力する。
- 8 家電リサイクル大阪方式を活用し、廃家電品のリサイクルを推進する。
- 9 職場での紙の使用量削減やリサイクルに取り組む。
- 10 イベントの実施にあたってはごみの排出を抑制し、ごみの持ち帰り、分別等を徹底する。

III 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進

- 11 家庭や学校・職場での照明やOA機器等のこまめなスイッチオフを徹底する。
- 12 未使用時の電気製品は主電源を切り、待機電力の消費量を減らす。
- 13 水の大切さを認識し節水を徹底する。
- 14 冷暖房の適正な温度設定を徹底する。
- 15 買い替え時には省エネ性能の高い家電製品や給湯器等を選択する。
- 16 建物への太陽光発電等の新エネ設備の導入や高断熱化を推進する。

【実施方法】

- ①府民会議各構成団体は重点行動メニューの中から実施する行動を1つないし複数選択し、それに基づく取組みを決め、下部組織にも取組みを呼びかけます。
- ②後日、府民会議全体での実施状況を把握します。

IV 自動車使用の見直し・エコドライブの推進

- 17 公共交通機関や自転車・徒歩を利用し、不要不急の自動車使用を自粛する。
- 18 ふんわりアクセル発進、減速時の早めのアクセルオフ、不要なアイドリングの停止等を徹底する。
- 19 タイヤの空気圧チェックなど、車の整備・点検を徹底する。
- 20 買い替え時にはハイブリッド車や超低燃費車等の環境に配慮した車を購入する。
- 21 イベントの実施にあたっては、公共交通機関を優先した来場経路の確保に努める。

V 自然環境の保全とふれあいの推進

- 22 身近な自然を見つめなおして、自然の大切さを考える。
- 23 野鳥や植物などの観察会等を通じ、自然とふれあう機会を増やす。
- 24 森林や里山などの自然保全活動を推進する。
- 25 河川や海岸の美化・清掃活動などへ積極的に参加する。
- 26 自然の中で行う行事や活動では不必要な草木の採取や自然を破壊しないことを徹底する。
- 27 農産物や水産物の地産地消や農業体験等を通じ、いのちを育む農空間や海の重要性を考える。

VI 緑化の推進

- 28 花や草木の栽培、生垣の設置など身近な場所での緑化を推進する。
- 29 地域の緑化や植樹活動等に積極的に参加する。
- 30 建物・工場などの屋上・壁面や敷地内の緑化を推進する。

府民会議が主体となって取り組む重点行動

「家庭や学校・職場における省エネの取組みの推進」

※特に節電に焦点を当てた取組みを推進します。

平成24年度 府民会議主体の実践活動
⇒ 3頁～6頁参照

平成24年度 構成団体の活動
⇒ 17頁～40頁参照

平成24年度 構成団体の活動目標 (URL)

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html> に掲載

検索キーワード「かんきょう交流ルーム」で検索し、「府民会議の取り組み」→「豊かな環境づくり大阪計画」→「平成24年度の構成団体の活動目標」を参照

第2章 実践活動

1 平成24年度の府民会議主体の実践活動

大阪府域においては、家庭やオフィス系職場における二酸化炭素の排出量が大幅に増加していることから、府民会議では、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会への転換に向けて、家庭や学校・職場において、ビジネススタイルやライフスタイルの変革につながるエコ・アクションの実践を促進する取組みを行っていきます。

特に、昨年発生した東日本大震災の影響により、省エネ・節電に対する社会的要請が強まっていることから、府民会議においても、省エネ・節電に焦点を当て、「おおさか節電チャレンジSHOP」や「環境壁紙コレクション」等の事業を実施してまいります。

また、今夏の厳しい電力需給の見通しを受け、府民会議としても一層の節電に取り組みます。

(参照) 府民会議のホームページ“かんきょう交流Room”

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

■府民会議としての節電の取組み

趣旨	今夏の厳しい電力需給の見通しを受け、府民会議としても一層の節電に取り組みます。
期間	平成24年7月2日(月)～9月7日(金)
内容等	<p><家庭向け> 関西広域連合作成リーフレット「今夏の節電のお願い(ご家庭の皆様)」を活用し、積極的に節電に取り組む</p> <p><事業者向け> 大阪府作成リーフレット「今夏の節電にぜひともご協力を」を活用し、積極的に節電に取り組む</p>

(1)「おおさか節電チャレンジSHOP」事業の実施

趣旨	<p>大阪府内において、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗の節電の取組みや節電実績等の情報をまとめ、『おおさか節電チャレンジSHOP』として府民会議ホームページで広く府民にPRします。</p> <p>また、期間を定めて、『「おおさか節電チャレンジSHOP」へGO!』キャンペーンを実施し、府民会議構成団体の会員等が各店舗を訪れて実際に取組みを見た感想を、府民会議ホームページに掲載します。</p> <p>これらにより、店舗と府民への節電・省エネに向けた啓発と行動に繋げていきます。</p>
期間	<p>募集開始：平成24年6月13日から</p> <p>ホームページ掲載：随時実施</p> <p>キャンペーン実施：平成24年6月下旬～10月</p>
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている店舗を募集し、応募のあった店舗を「おおさか節電チャレンジSHOP」として府民会議ホームページで紹介します。 ・府民会議事務局等が独自に取材に赴いた店舗についても、相手の了解を得て、「おおさか節電チャレンジSHOP」として府民会議ホームページで紹介します。 ・平成24年6月下旬～10月のキャンペーン期間中に、府民会議構成団体の会員等が各店舗を訪れ、各店舗の取組みを実際に見た感想を、府民会議ホームページに掲載します。

(2) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

趣旨	「省エネの取組みを推進しよう！」をテーマに、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載して、好みのデザインの作品を閲覧した誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより、環境に関する啓発を行います。
期間	募集：平成24年6月～8月、HP掲載：平成24年9月～、表彰：平成25年3月
内容等	・「省エネの取組みを推進しよう！」をテーマに、構成団体の会員や府民等からパソコンの壁紙作品を募集します。 ・応募作品を府民会議ホームページに掲載し、優れたデザインの作品については府民会議で選考のうえ表彰します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery.html

(3) おおさか環境賞の実施

趣旨	自主的かつ積極的に、他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し奨励することを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることが目的として実施します。
時期	推薦受付：平成24年4月中旬～6月中旬、選考：平成24年7月、 表彰式：平成24年8月末
内容等	・府民会議構成団体等を通じて候補者を推薦してもらい、選考委員会による選考を経て、大賞、準大賞、特別奨励賞、奨励賞を授与します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html

(4) 「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

趣旨	環境省、大阪グリーン購入ネットワーク、大阪府と共催で、グリーン購入についての理解を深め、その促進を啓発するためのセミナーを開催します。
時期	平成24年秋～冬期
内容等	・基調講演や事例発表などを内容とするセミナーを開催します。 ・会場において府民会議や構成団体の活動を紹介するパネル展示を行います。 ・府民会議のネットワークを生かして広く参加者を募ります。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/seminar.html

(5) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

趣旨	日常の買い物において誰もが身近に行えるグリーン購入の実践を通じて、府民や事業者等が環境との関わりを深く認識し、環境に配慮した生活や経済活動を実践するための契機とすることを目的に、国や各都道府県と協働してキャンペーンを実施します。 府民会議構成団体の協力を得ながら、より多くの店舗・業種に参加を呼びかけ実施します。
期間	平成24年10月1日～10月31日
内容等	府内の事業者（参加各店舗）等に対し、特に次の取り組みを働きかけます。 ・キャンペーンポスター等の掲示による消費者への啓発 ・「環境に配慮した商品」の販売や、「量り売り」の実施 ・簡易包装の実施、買い物袋持参の奨励 など (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html

(6) 「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みへの参加

趣旨	関西広域連合の提唱のもと、事務所・会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。
期間	平成24年5月1日～10月31日
内容等	・適正冷房の徹底や軽装の奨励について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。

(7) 「ライトダウンキャンペーン」・「ウォームビズ」の取組みへの参加

趣旨	環境省の提唱のもと、日頃いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化対策の実践の動機付けとしてもらうため、ライトアップ施設や家庭・職場の照明を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」に参加します。 また、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（自治体19℃、民間20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される「ウォームビズ」の取組みに参加します。
期間	ライトダウン：平成24年6月21日～7月7日 ウォームビズ：平成24年11月1日～平成25年3月31日
内容等	<p><ライトダウン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンへの参加（環境省の専用サイトで登録）について、府民会議構成団体への周知を図り、積極的な登録を促します。 ・特別実施日である夏至（6月21日）の「夏至ライトダウン」と、七夕（7月7日：クールアースデー）の「七夕ライトダウン」について、府民会議構成団体の参加状況やCO₂削減量等を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html <p><ウォームビズ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正暖房の徹底について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。 ・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html

(8) 省エネラベルキャンペーン（夏、秋冬）の周知等

趣旨	省エネ型家電製品の導入を誘導し、家庭におけるCO ₂ 排出量を削減するため、商品に添付して省エネ情報をわかりやすく提供する「省エネラベル」を普及させ、消費者に知ってもらうことを目的に、大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会が実施しているキャンペーンの周知等を図ります。
期間	夏：平成24年6月～8月、秋冬：平成24年11月～平成24年1月
内容等	・府民会議構成団体を通じてその会員等に周知等を図ります。

(9) ストップ地球温暖化デーや各種イベント等の周知

趣旨	毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」や、地球温暖化対策や省エネ行動の実践等に関するその他の各種イベントについて周知を図ります。
期間	随時実施
内容等	・府民会議や構成団体主催のイベント等において周知、啓発等を行います。

(10) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

趣旨	府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、電子広報誌「かんきょう夢ひろば」を発行し、活動の紹介やイベント情報等の発信を行います。
期間	年4回程度
内容等	・ホームページ上に掲載する形で発行します。 (参考) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

(11) 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

趣旨	インターネットを活用して、府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、府民会議独自のホームページ「かんきょう交流Room」を運営します。
期間	通年
内容等	・「豊かな環境づくり大阪行動計画」の掲載や、「おおさか節電チャレンジSHOP」、「環境壁紙コレクション」といった府民会議の独自事業の紹介を行っています。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html

(12) 大阪府環境保全活動補助事業への審査協力

趣旨	大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力します。
時期	募集：平成24年3月～5月、審査：平成24年6月、決定：平成24年7月
内容等	・環境保全活動補助事業審査会の審査委員のうち3名が府民会議の企画委員の中から選任され、補助対象案件の審査に協力します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html

2 平成23年度の府民会議主体の活動の報告

平成23年度の新規事業として、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗の節電の取組み等を府民会議ホームページで広く府民に紹介する「おおさか節電チャレンジSHOP」事業を実施しました。

前年度からの継続事業では、環境に関するテーマに基づいて、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載し、好みのデザインのもを誰もが気軽にダウンロードできるようにすることによって啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施したほか、他の模範となるような環境保全活動に取り組んでいる団体・事業者に対して「おおさか環境賞」を授与し、顕彰しました。

他にも、グリーン購入の普及・拡大を図るため、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に「グリーン購入セミナー in 大阪」を開催したほか、グリーン購入の実践を通じて、府民や事業者が環境の関わりを認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機としていただくことを目的に「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

また、国等の呼びかけに応じて参加した「ライトダウンキャンペーン」や「ウォームビズ」については、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめて府民会議ホームページで公表したほか、「夏季の適正冷房と軽装勤務」、「省エネラベルキャンペーン」、「ストップ地球温暖化デー」等の各種キャンペーン等については、構成団体を通じてその会員等への周知を図り、積極的な参加と実践を促しました。

さらに、環境保全活動に取り組んでいる団体に対し補助金を交付する「大阪府環境保全活動補助事業」についても、その補助対象案件の審査に府民会議として協力しました。

こうした府民会議や府民会議構成団体の活動については、電子広報誌「かんきょう夢広場」（年4回発行）や、府民会議ホームページにおいて紹介しました。

(1) 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業の実施

大阪府内において、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗の節電の取組みや、実際にそれらの店舗を訪れて取組みを見聞してもらった感想などをまとめ、府民会議ホームページで広く府民に紹介する「おおさか節電チャレンジSHOP」事業を実施しました。

平成23年度は、王将・吹田春日店、摂津水都信用金庫・大池支店、ローソン・茨木南安威一丁目店の3店舗の取組みを紹介しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/setuden-shop.html>

(2) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品をホームページに掲載して、好みのデザインのものを読覧者の誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより環境に関する啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施しました。

平成23年度は「家庭や学校・職場で実践！ CO₂を減らす術」をテーマに広く作品を募集したところ、府内外から50作品の応募があり、各作品の閲覧件数を参考に府民会議において最優秀作品を1点と優秀作品を3点選定し、表彰しました。

(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery.html



<最優秀作品賞>受賞作
「CO₂を減らすには」

(3) 「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

『今だからこそ、ライフスタイル・ワークスタイルのグリーン購入を考えよう ―事例に学ぶ、企業と地域の様々な取り組み―』をテーマに、大阪を中心とした近畿地域の企業、行政、民間団体を対象に、グリーン購入の普及・拡大と、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に、「グリーン購入セミナー in 大阪」を開催しました。

会場では、府民会議の実践活動についても、ポスターによるPRを行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/seminar2011.html>



開催日	平成23年11月30日
会場	エル・おおさか(大阪府立労働センター) 大会議室
参加者	45名
主な内容	<p>☆基調講演「3. 11後のグリーン購入」 東京都市大学教授 中原秀樹氏</p> <p>☆グリーン購入ネットワーク 「グリーン購入の現状と課題」</p> <p>☆事例発表 ★佐賀市 「間伐材を使用したコピー用紙の導入による環境保護、森林保全、地産地消等の多面的で効率的な行政運営の展開」</p> <p>★帝人ファイバー株式会社 「帝人ファイバーの環境負荷低減への取り組み」</p> <p>★株式会社タカラトミー 「おもちゃに環境ラベル(タイプ 2)を業界で先駆けて導入 「エコイ」活動ははじめました おもちゃで子どもたちの環境への気付きをお手伝い」</p>
その他	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、環境省、(財)日本環境協会、グリーン購入ネットワークの共催で実施しました。

(4) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

平成23年10月に、消費者に環境にやさしい消費行動(グリーン購入)を呼びかけ、環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため、スーパーや生活協同組合等の店舗において「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html>

実施期間	平成23年10月1日～10月31日
参加店舗	スーパー・生協・百貨店・商店街等 3,713店舗
主な内容	<p>☆共通の取り組み キャンペーンの統一的な取り組みを設定し、各店舗で実施しました。 ポスターの掲示、環境に配慮した商品等の積極的な販売、包装の削減、はかり売りの実施、買い物袋の持参 等</p> <p>☆店舗独自の取り組み 各店舗の状況に応じて、特設コーナーの設置など、グリーン購入の普及に即した独自の取り組みを実施しました。</p>
その他	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、大阪府リサイクル社会推進会議が、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラム、全国の都道府県との共同キャンペーンとして実施しました。

(5) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動や、構成団体が取り組んでいる活動等について紹介し、広報等を行うため、年4回電子広報誌「かんきょう夢ひろば」をHPに掲載する形で発行しました。

(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

(6) 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

インターネットを活用し、豊かな環境づくり大阪府民会議の事業や構成団体の活動について広報等を行うため、ホームページ「かんきょう交流Room」を運営しました。

(7) 第15回「おおさか環境賞」の実施

「おおさか環境賞」は、地球温暖化防止や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を、豊かな環境づくり大阪府民会議と大阪府が共同で表彰するものです。

平成23年度は、以下の方々が受賞され、平成23年8月31日に大阪府公館において表彰式を行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html>



(府民活動部門の受賞者の皆様)



(事業活動部門の受賞者の皆様)

<大賞> 事業活動部門 一般社団法人コミュニティ彩都

【彩都地区を中心とした柵田保全活動と地区の低炭素化に向けた取組】

自然豊かな環境にある「彩都」の魅力を活かし、隣接した里山の柵田をフィールドに住民を対象とした体験イベント型の環境保全活動を通して、地域の環境・景観維持に対する住民意識の向上に取り組まれているほか、周辺環境の回復と里山保全にも貢献されました。

また、人と自然の調和と環境に配慮したまちづくりを進めるため、カーシェアリング等、会員に便利で環境に優しいライフスタイルを提供することで、住民と共に低炭素に向けた取り組みをされています。

地域住民と共に環境保全および低炭素社会の実現に向けての取り組みから、環境にやさしいコミュニティ形成に寄与する活動の一つのモデルとして高く評価されました。

第9回彩都柵田ファーマークラブイベント収穫祭



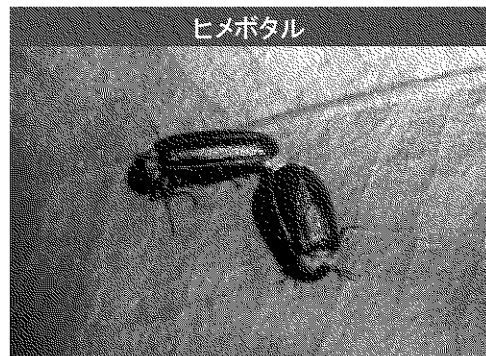
<準大賞> 府民活動部門 箕面ホテルを守る会

【箕面市内のホテルを調査し、保護・普及するとともに、ホテルが棲める環境を保全する】

箕面のホテルを保護し、ホテルが棲める環境を守るため、地域の川の整備活動、山や川のゴミ拾いなど、環境の向上に努められています。

また、調査・観測の結果を冊子「箕面のホテル」にまとめられたほか、様々な場で、展示や解説を行い、箕面のホテルの現状を市民に知らせホテルの保護についての普及・啓発が行われています。

ホテルの観察を通して、ホテルが生息する環境を守ることにつながっており、活動も市民全体が対象で、また国際的活動に参加するなど、非常に発展的であることから、環境活動として教育・啓発の面で高く評価されました。



<準大賞> 事業活動部門 大阪リサイクル事業協同組合

【家電リサイクル大阪方式によるリサイクル社会実現への誘導】

地上デジタル放送移行に伴い、使用済家電排出の大幅増加が懸念される中、確実に利便性が高く経済的な「家電リサイクル大阪方式」を着実に実施され、府民がリサイクルしやすい環境を創出することで、府内の不法投棄台数の大幅削減にも、大きく貢献されたことが高く評価されました。

さらに、新たに始められた生活保護受給世帯に対する再生輸送費負担の先進的な取り組みにより、より多くの府民のリサイクルの実践や、リサイクル意識の向上に貢献されています。

品名	大阪方式	大阪のリサイクル
エアコン	1,880円	1,000円
テレビ	880円	1,000円
冷蔵庫・冷凍庫	2,380円	1,000円
洗濯機・乾燥機	1,780円	2,520円

※別途運送料金が必ず発生します。

生活保護受給世帯等の再生輸送費を負担する取り組みを実施しています！

- 家電リサイクル法では全ての府民にリサイクルが義務付けられており、生活保護受給世帯等にとっても、リサイクルにかかる費用を払うことがこれまで以上の大きな負担となっていました。
- リサイクル社会の推進を目指し、あらゆる府民が家電リサイクルの義務を果たせる環境をつくるため、消費者の負担の軽減、中でも生活保護受給世帯等の再生輸送費を負担する府民のリサイクルへの参加を高める先進的な取り組みを、大阪府と連携して実施しています。

<特別奨励賞> 府民活動部門 市民ボランティアネットワーク・石津川に鮎を

【石津川に鮎が遡上し、多自然型の豊かな河川環境を取り戻すための活動】

石津川に関心のある多くの団体、人が集まり、市民ボランティアネットワークを組織し、水質調査や研修会、パネル・生き物展示などの啓発活動に取り組まれているほか、河川アドプト活動の一環として、河川美化活動、環境整備活動を実施されています。

鮎をシンボルとして、河川の美化、子どもたちへの環境教育、フォーラムの開催など、地域の人々に対する環境啓発や、地域活動の推進に貢献していることが高く評価されました。

<奨励賞> 府民活動部門

○社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク 河南支部

【環境美化運動・ゴミ減量リサイクル運動】

昭和 35 年から毎月、地元自治会と協力して町全域での清掃活動に取り組み、昭和 62 年からは町や農業団体とも連携し、道路・水路・側溝・農業用水路等の清掃も行われています。

また、きれいな川を取り戻す運動として、食用油排出の禁止、食器洗浄時の汚れの拭取り、生ゴミの堆肥化等、生活排水の改善にも取り組まれています。

○社団法人 ガールスカウト日本連盟 大阪府第 12 団

【里山活動】

箕面に自生するウワミズザクラや箕面市花のササユリの復活のため、下草刈り、雑木の伐採など、里山活動に取り組まれています。

また、地域の「みのお里山プラットホーム」と協力し、枯木を切り倒したり、倒木でテーブルやイスを作るなど、六個山の環境保全にも努められています。

<奨励賞> 事業活動部門

○大阪ガス株式会社

【家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」の普及活動】

家庭用コージェネレーションシステムの普及を通じて、家庭部門でのCO₂排出量を削減し、低炭素社会の実現を図るために積極的に取り組まれています。エネファームの付加価値向上のため、定期点検や、修理費用を無償で対応し、安心感の醸成に努めているほか、購入後も様々なサービスを展開し、満足度の向上を図られています。

○中之島^{エコスクエア}eco2連絡協議会

【中之島eco2連絡協議会による環境取組みの実践】

「環境先進都市・中之島としての取組みの実践」を活動の基本理念に、中之島に関わる産・学・官・民すべてが参加した体制を作ると共に、低炭素化、クールシティ、ライフスタイルやマネジメントまでを含めた活動を行い、中之島の情報を広く発信されています。

○丸十服装株式会社

【業界初のカーボンオフセット付きユニフォームの販売によるCO₂削減】

CO₂削減の取り組みとして、業界で初めてカーボンオフセット付きユニフォームを開発され、企業訪問による環境配慮型経営の有効性のアピールや「SAKAI 環境ビジネスフェア」に出展するなど、環境貢献活動の紹介を行った結果、昨年1年間で約110tのCO₂削減に貢献されました。

○植田油脂株式会社

【「廃食用油の再資源化」によるCO₂削減活動及び国内飼料自給率向上への取組み】

事業活動に伴って生じた「廃棄物である使用後の食用油」の再生処理に努め焼却処分によるCO₂発生を抑制し、生活環境の保全と公共衛生の向上に貢献されました。

そのリサイクル率はほぼ100%であり、再生物は飼料用、工業用の油脂原料として活用され我が国の飼料自給率向上にも大きく貢献されています。

(8) 各種キャンペーンへの参加等

府民会議及び構成団体は、国等の呼びかけにより実施されている様々なキャンペーンに積極的に参加しました。

消灯というシンプルな行動を通じて地球温暖化問題を意識してもらうためライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（政府・自治体 19℃、民間 20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「ウォームビズ」の取組みについては、府民会議構成団体への周知と積極的な参加を促すとともに、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめホームページで公表しました。

また、夏季において、軽装の奨励などにより、事務所や会議室の適正冷房（28℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「夏季の適正冷房と軽装勤務」（クールビズ）の取組みについては、府民会議構成団体を通じて会員等への周知と積極的な参加を促しました。

さらに、家電製品の省エネ性能を表示する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭における省エネ型家電製品の導入を誘導する「省エネラベルキャンペーン」や、府民一人ひとりが地球温暖化について考え、環境にやさしい行動を実践する日と定められた、毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図りました。

（参照）ライトダウンキャンペーン

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html>

（参照）ウォームビズ

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html>

(9) 平成23年度大阪府環境保全活動補助事業による活動支援

大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力しました。

具体的には、環境保全活動補助事業審査会の審査委員5名のうちの3名が府民会議の企画委員の中から選任され、補助対象案件の審査に協力しました。

審査の結果、平成23年度は、11件 1,740,671円の補助金が交付されました。

（参照）<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

[平成23年度補助対象事業一覧]

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
番川を守る会	地域流域「番川」の清掃活動	「番川」流域の環境保全および降雨時における水害防止を目的として、住民参加による番川流域の清掃活動を行った。	淡輪地区 住民 180名	H23.11～ H24.3	岬町 番川流域
NPO 法人まどり	ものづくりから、山や里山、地域との共生・循環を展開するプロジェクト	自然環境の保全、育成の重要性を唱え、こどもたちの想像力、環境への関心を継続して高め、地域との共生、及び更なる広がりを図るため、里での木工教室、里山での木工教室、里山見学と木工クラフトを行った。	大阪府民 合計 100名	H23.7～ 10	茨木市、 交野市、 枚方市

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
天竺川ホテルの会	竹林間伐と間伐材を活用した川の清浄化	長年放置された竹林を再生し環境を良くするため竹林の間伐を行い、間伐材の有効活用のため、竹製品や竹炭等の作成、竹箆祭り等を行った。作成した竹炭を水質浄化のため天竺川に設置した。	会員30名、高校生10名、他40名	H23.7～ H24.3	豊中市 新千里緑地
たかつき環境市民会議	自転車の人がやさしくなるために	温暖化の原因とされているCO2の排出源であるマイカーの利用をできるだけ減らし、公共交通・自転車の利用を市民に呼びかける活動を通して、自転車走行のルールを守り、交通環境を良くし、マイカーから自転車への転換を促進することで温暖化防止の一助にしていこうことを目的に、自転車利用者へのアンケート調査、啓発活動を行い、自転車交通についてのタウンミーティングを開催した。	高槻市内の自転車利用者 1,000人	H23.7～ H24.3	高槻市内
一般社団法人あだーじょ	買い物で「地球温暖化」を考える、フード・マイルージ普及啓発活動	大阪府域内での生産者と消費者との交流の場を設け、大阪産のモノづくりについての将来を考える機会を設けるとともに、できるだけ近くの産地を選ぶ購入方法でどれだけ地球温暖化防止に貢献できるのかを理解してもらう機会を設けるため、大阪産の食材に囲まれた暮らし方について考える啓発イベントを開催した。	一般府民 100名	H23.7～ 11	大阪市総合生涯学習センター
NPO法人もく(木)の会	木育による森林の二酸化炭素吸収機能啓発事業	都市部に住んでいる消費者に、大阪府内に住宅の材料となる木材のすぐれた産地があることを知らせ、近くの山の木を使うと、山の間伐が進み、植林された木が健全に育つこと、適正に間伐された山は、多くの二酸化炭素を吸収し、自分たちの住んでいる街の環境を良くするということが草刈り体験を通して次の世代を担う子どもたちに理解してもらうため、1年前に植林した山での草刈り、伐採した木の製材、加工を体験するワークショップを開催した。	小学生とその保護者 20組40名	H23.10～ 11	河内長野市の山林

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
特定非営利活動法人 いけだエコスタッフ	いけだ・みんなの発電所（太陽光市民共同発電所）第一号機設置記念イベントの開催とPRグッズ作成	太陽光市民共同発電所の意義・設置までの過程、今後の展望、持続可能な循環型社会の創出に向けたビジョンなど、市民・近隣住民に対し事業への理解を促し3R実践行動へつなげるとともに第二号機以降の設置に向け、協力体制の確立と循環型社会システムを具体化することを目的に、第一号機の設置記念イベントを開催した。また、啓発のためのクリアファイルを作成、配布した。	池田市周辺住民 約 5,000 名	H23.7~ H24.3	池田市内
特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター（エコネット近畿）	「近畿の河川クリーンアップ活動」事業	近畿の河川・湖沼の清掃を通じた団体の交流、ネットワーク作りを目的に、清掃活動、ごみの分別調査などのクリーンアップ講習会、クリーンアップフォーラム（活動報告会）を開催した。また、他団体と共同してクリーンアップ活動の普及・啓発を行った	市民、NPO、企業、行政等 80～300名程度	H23.7~ H24.3	近畿の河川及び大阪府内の事務所や貸し会場
特定非営利活動法人 環境教育技術振興会	全国アマモサミット2011～手をつなぎ、アマモ場再生の輪を拡げよう！～	アマモ場や浅場は沿岸域における自浄機能の要であり、魚介類の産卵の場であり、幼稚仔魚の生育の場として大切であるが、近年の埋立地の増加でそのほとんどが消失している。大阪府民に大阪湾の海域環境の現状やアマモの役割を知ってもらい、大阪湾での活動の活性化と環境再生の促進を図るため、全国からアマモ場再生を願う方々が集い、地域を越えて活動を円滑に進めるための情報発信の場である全国アマモサミットを大阪で開催した。	アマモ場再生活動団体、一般府民 200人	H23.11.18	海遊館ホール

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
一般社団法人 関西アスベスト調査診断協会	アスベストによる環境への影響についての普及啓発活動「明日BEST(アスベスト)プロジェクト」	日常を通じてアスベストの知識の啓蒙を行い、地域の人々にもっとアスベストの怖さを知ってもらい、その防護方法を災害時はもとより日常から認識してもらうことを目的に、市民セミナーを年3回開催し、解体・改修行為前の事前調査の徹底と専門家による建物診断の実施の呼びかけを行った。	府民 100人× 3回	H23.6~ H24.3	大阪府内 (大阪市、堺市、吹田市等)
特定非営利活動法人 NPO クワガタ探検隊	蘇れ！里山の命との感動体験	日本古来からの自然観を子供たちに継承するため、里山や原生林等の探検、カブト虫里山活動（カブト虫等の飼育）、創作絵本の読み聞かせ等を行った。	会員、 五月山山麓 の住民 延べ 450 人	H23.7~ H24.3	五月山(池田市)、 箕面国定公園(箕面市)、 妙見山(能勢町)

3 府民会議構成団体の活動

府民会議に参加している府民団体、事業者団体、関連団体等の平成24年度の活動予定及び平成23年度の活動報告の概要は、次頁以下に掲載しているとおりです。

府民会議構成団体の活動を重点行動テーマごとに見ると、次のとおりです。

「Ⅰ グリーン購入の推進」については、23年度は16団体が取り組みました。24年度も16団体が、グリーン購入の実践をはじめ、グリーン購入についての啓発、買い物袋（マイバッグ）持参運動の実施、環境の配慮した商品の開発・販売などに取り組みます。

「Ⅱ ごみ減量化・リサイクルの推進」については、23年度は14団体が取り組みを行いました。24年度も14団体が取り組みを行う予定です。うち、府民団体では構成員の一人ひとりがごみの減量化や分別廃棄などの具体的な実践行動に取り組み、事業者団体では、簡易包装による包装材の減量化や食品リサイクル、各店舗における廃棄物の分別回収等のリサイクル運動の実践などに取り組みます。

「Ⅲ 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進」については、23年度は16団体が取り組みを行いました。24年度も16団体が、事務所等におけるスイッチオフや、夏季の適正冷房・軽装を行うエコ・スタイルの実践などによる電力使用量の削減等に取り組めます。

「Ⅳ 自動車の使用の見直し・エコドライブの推進」については、23年度は8団体が取り組みを行いました。24年度は6団体が、エコドライブやアイドリングストップの実践、ノーマイカー等における公共交通機関の利用促進、低公害車の普及啓発などに取り組みます。

「Ⅴ 自然環境の保全とふれあいの推進」については、23年度は10団体が取り組みを行いました。24年度も9団体が、森林や里山の保全、河川の浄化や美化、生態系の保全、イベント実施時のごみの持ち帰りや環境配慮の徹底などに取り組みます。

「Ⅵ 緑化の推進」では、23年度は4団体が取り組みを行いました。24年度も4団体が、植樹や緑化運動などに取り組みます。

その他にも、府民会議構成団体が実施した啓発イベントやセミナー・研修会等に、延べ約6万人の参加を見込んでいます。

なお、各構成団体の活動の具体的な内容や実績については、下記ホームページに重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

☆☆ 府民団体 ☆☆

団体名 社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク
HP

平成 23 年度活動の重点目標として実施した、V 自然環境の保全とふれあいの推進についての、「きれいな水を取り戻す運動」で、その内容は行政機関や自治会等と連携して実施した道路側溝・公園・駅周辺・河川敷・海浜等の清掃活動や、廃食用油を回収して石鹸づくりを行う等で、瀬戸内海に流入する河川の水質改善に努めました。

次に、II ごみの減量化・リサイクルの推進については、買い物時のレジ袋不要運動やマイバック持参運動を推進するとともに、行政機関や自治会等と連携してリサイクル可能な廃棄物を分別回収し、回収後にリサイクル業者へ引き継ぎました。

また一部の支部では、古綿布を収集して洗濯アイロンかけ後、一定の大きさに裁断のうえ老人施設の清拭用布として寄贈しました。

そのほか、VI 緑化の推進では地域の緑化活動に積極的に参加するとともに、I グリーン購入の推進では街頭での啓発活動を実施しました。

平成 24 年度においても、これまで同様の目標をかかげ、本年度の活動実績を更に上回るよう近隣住民とともに啓発活動、実践活動を推進する予定です。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

団体名 一般財団法人 大阪府子ども会育成連合会
HP <http://www2.ocn.ne.jp/~fukodomo/>

平成 23 年度については、環境学習の視点を取入れ、子ども自身が体験や調査を通じて環境問題について学び、その成果を地球の人々に発信していく地域ぐるみの活動を呼びかけてまいりました。

平成 24 年度についても広報紙「子ども会大阪」を通じて地球温暖化防止を呼びかけてまいります。また、リサイクル活動、公園や街の清掃、身近な自然の観察、こどもによる地域の安全マップ作成など豊かな環境づくりに向けた地域ぐるみの活動を展開してまいります。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> その他

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> その他

団体名 大阪府生活協同組合連合会
HP <http://www.osaka-union.coop>

平成 23 年度大阪府生協連合会は「豊かな環境づくり大阪府民会議」の構成団体として、「環境にやさしい買い物キャンペーン」「ライトダウンキャンペーン」等に引き続き参加しました。また、行政、事業者、環境団体、消費者団体が連携して取り組む、家電製品の「省エネラベルキャンペーン」の大阪実行委員会に参加し、量販店での省エネラベルの活用実態のモニタリング等の活動をすすめました。

平成 24 年度も引き続き各種キャンペーンに参加します。また府内の環境団体や消費者団体と連携し、環境保全や今後のエネルギー政策をテーマとした学習活動等を推進し、引き続き家庭での省エネ活動を推進します。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

団体名 大阪府青年団協議会
HP

平成 23 年度は、例年推進しているグリーン購入の推進を、主に事業ごと、諸会議の中で加盟市町団のメンバーに訴えながら、実施に向けて進めてまいりました。

平成 24 年度は、“グリーン購入の推進”に加えて、地域ごとの諸問題に対応する活動を推進してまいります。

- (例) 岸和田市 溝の薬剤散布
泉佐野市 CO2 減少に向けた自動車使用を考える行動、
エコ農業を実施 (6 月～12 月)、市内各地区で清掃活動を実施
泉南市 町会と合同で清掃美化活動を実施

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

21世紀を担うガールスカウトの少女達が責任ある「世界市民」の一員として、地域の今日的な問題である環境問題への取り組みを日常の活動の中に取り入れ実施しました。

① グリーン購入の推進：環境に配慮した商品の知識、販売方法などへの関心が強まってきたことをきっかけに、フードマイレージに取り組み、大阪府地球温暖化防止推進員の協力を得て、「楽しいゲームで食と環境を学びましょう」を実施しました。食と交通と環境は、日々の買い物につながっています。フードマイレージを学ぶことをきっかけに環境に優しい暮らし方を考えることができました。

② ごみ減量化・家庭での省エネ：ガールスカウトでは常に色々活動の場面で、ごみの減量化、省エネに取り組んでいます。特にキャンプでは、節水、節電を生活の中で体験し、日常生活に反映させています。

③ 自然環境の保全とふれあいの推進：ピースプロジェクト Greener × Greener の実施として、ある団は、15年計画で1万本のヤマザクラや紅葉木を植樹し、生駒山系を花屏風のようにして、自然資源を後世に残す大阪府のプロジェクトに参加、1年間かけて見守り、自然資源を後世に残すことの大切さを知るきっかけとなりました。

また今年も、箕面に自生するウワミズザクラや箕面市花のササユリの復活のため、下草刈り、雑木の伐採など、里山活動に取り組んでいる団が、「おおさか環境賞」奨励賞を受賞しました。

公益社団法人ガールスカウト日本連盟では2010年よりピースプロジェクト Greener × Greener を始めています。この活動は日本の地域の緑のために日本のガールスカウトが中心になって地域の人々と活動することで、難民キャンプの自然環境の回復を支援するプロジェクトです。「日本の環境のために」「世界の難民のために」子どもたちが中心となり、自分たちの手で自分達の住む地域に貢献するための行動をし続け、そしてその頑張りから得たものや収益を、難民のために使っていくというものです。

今年も東日本大震災被災者支援プロジェクトを継続します。大阪では昨年に引き続き生駒山系山桜植栽事業、箕面里山保全事業にも他団体と連携して積極的に参加していきます。「世界市民」の一員として、「私たちのできること」を実践し、30の重点行動に取り組んでいきます。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

平成23年度は、

- ・ グリーン購入の必要性として、マイバッグ持参運動へ取り組み、エコ商品として再生しやすいものを買求めるよう呼びかけました。
- ・ スイッチオフ推進運動、自家用車のアイドリングストップの取り組みも呼びかけました。
- ・ 球根や花の種を配布し、街の緑化に努め、また屋上緑化普及に協力しました。
- ・ 省エネ、新エネの重要性を認識し、推進に協力しました。
- ・ ゴミ発生抑制のためのリユーズ、リサイクルの重要性を考えました。

平成24年度は、

- ・ マイバッグ持参、グリーン購入の推進運動
 - ・ 環境ラベルの周知徹底
 - ・ ごみ減量としてのリユース・リサイクルへの理解及び周知徹底
 - ・ 省エネ推進としてスイッチオフ運動、また太陽光発電、新エネの理解
 - ・ 自動車使用の見直し、エコドライブの推進として、自家用車のアイドリングストップの取り組みへの呼びかけ
 - ・ 環境美化に関わる活動としてCO2削減や緑化の実践行動の推進
- 上記を実施する予定です。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

団体名 国際ロータリー第 2660 地区

HP <http://www.ri2660.gr.jp/>

国際ロータリー第 2660 地区は、83 クラブ、3,710 名余の会員で構成されています。
環境問題を最優先事項の一つとしてとらえております。

23 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行いました。
- ②世界環境デイ(6/5)/環境月間の運動への参加を行いました。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施しました。

24 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行います。
- ②世界環境デイ(6/5)/環境月間の運動への参加を行います。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施します。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、その他

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、その他

団体名 なにわの消費者団体連絡会

HP

平成 23 年度は、「なにわの消費者団体連絡会」としては「環境問題」に特化した活動に取り組みませんでした。個々の構成団体の中には環境問題に取り組んだ団体がありました。

①岸和田市消費生活研究会

岸和田市にできた「岸和田環境市民会議」の「温暖化対策部会」に発足当初から入会し希望者で活動をしている。

この部会は、市内の気温を同日、同時間、一斉に測定して地域による気温の違いから温暖化問題を一緒に考えようというものです。市民や、小学校にお願いして簡易百葉箱の作り方や温暖化の話等啓発と実践活動をしています。

②生活協同組合エスコープ大阪

- ・環境会計簿
- ・エネルギー問題 など

③とよなか消費者協会

- ・環境保全、リサイクル活動（資源回収、リサイクル啓発）トレー実態調査などの活動
- ・地産地消 など

④寝屋川市消費者協会

家庭で処理に困る廃油（食用油）を回収 など

⑤コープこうべ

- ・「暮らしの見直し」をテーマにエネルギー問題（ただし反原発・脱原発に特化した内容ではない）を考える学習
- ・フードプラン環境に配慮した（人と自然にやさしい）農・畜・水産物の商品群の中から「黄金生姜（高知県）」の栽培から見る環境にやさしい農業について学習ならびに産地見学 など

平成 24 年度は、重点活動について引き続き取り組むこととしています。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

団体名 公益社団法人 日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会

HP <http://www.jaycee.or.jp/2011/kinki/osaka/>

平成 23 年度は、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけました。

平成 24 年度も、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけます。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> V

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> V

団体名 日本ボーイスカウト大阪連盟

HP <http://swo.to>

平成23年度は、毎年全国的に行っている「カントリー大作戦」は、9月19日大阪府内の各加盟団が各団地域で、約1万個の空き缶やペットボトルの回収とともに地域清掃を一斉活動として行いました。

この活動は、20年を超える活動として行ってきましたが、当初10万個が回収されましたが、現在は10分の1になるように社会的に空き缶やゴミの放置は少なくなってきました。現在は、啓発活動として行う面が強く、ペットボトルのキャップを回収して団体に贈る等、リサイクル活動の側面が付加されてきました。

また、戦後間もなくから継続している「緑の羽根募金活動」の街頭募金活動と府内の植樹を実施しました。

平成24年度は、カントリー大作戦の継続実施を中心に、環境美化を中心に「豊かな環境づくり」の啓発に努めていきたい。

また、キャンプやハイキングなどの野外活動のフィールドでの環境配慮実践をより高度に、より今日的に行えるよう日々の研究を行いたい。

<平成23度に取り組を行った重点行動の項目番号> II、V、その他

<平成24度に取り組を行う重点行動の項目番号> II、V、その他

団体名: 日本野鳥の会大阪支部

HP: <http://www10.plala.or.jp/birdsosaka/>

平成23年度において、野鳥の会では、活動の中心である自然観察会で公共交通機関の利用を徹底し、車の使用を見直し、世界規模で問題となっている「地球温暖化防止」に努めました。

また、野生動物と共存できる環境を守る事を進めるため、「自然とのふれあいの推進」の啓蒙のために、学校、会社、団体に対し野鳥観察指導等をおして啓蒙活動を行いました。

さらに、関西の河川でゴミ拾いを行っているボランティア団体「ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク」と協同して、淀川・海老江干潟で春の4月と5月、秋の8月9月の4回シギチドリを観察した後、ゴミンゴの皆さんとゴミ拾いを実施しました。

平成24年度も、引き続き、これらの実践活動を実施していく予定です。

<平成23年度に取り組を行った重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

<平成24年度に取り組を行う重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

団体名 日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）

HP <http://www.rengo-osaka.gr.jp/>

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオンー環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の1つとして位置づけてきました。

平成23年度は、引き続き連合が全国で展開している「エコライフ21」により各構成組織が独自の取り組みを展開しました。

また、連合大阪の地域組織は、10月22日（土）に、大阪府域一斉環境活動実施日として、森林地帯の環境整備や駅・河川・公園等の清掃活動を実施し、さらにはエコキャップ運動も積極的に展開し、地域社会への啓発を行いました。

平成24年度も、平成23年度の活動を引き続き行っていきます。

連合大阪府域一斉環境活動を10月を中心に行うことに加え、新たに環境に即した取り組みを行っていく予定です。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅴ、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

団体名 ライオンズクラブ国際協会335-B地区

HP <http://www.lc335b.gr.jp/>

平成23年度は、地球温暖化防止セミナーの開催、水辺のクリーンアップ大作戦での清掃活動、リサイクル、エコ活動等、環境への取り組みを、大阪府・和歌山県下194のクラブが様々な活動を行っておりました。

平成24年度も、これまでの事業を継続して実施していく予定です。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅵ、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅵ、その他

団体名 公益社団法人 関西経済連合会
 HP <http://www.kankeiren.or.jp/>

平成23年度は、民生部門および業務部門における自主的な環境活動促進のための普及啓発活動を行いました。特に、関西うちエコ診断協議会への協力として、集団受診を実施する企業の掘り起こしを初めて行い、民生部門のCO2排出削減に貢献しました。

また、「環境・エネルギー技術・製品事例集」の改訂を行い、国内最大級の環境展示会（エコプロダクツ2011）に単独ブース出展を行うことなどにより、「環境先進地域・関西」を国内外にアピールするとともに、省エネセンターおよび大阪環境カウンセラー協会と連携し、中堅・中小企業の自主的な環境活動の促進に向けた勉強会やセミナーを実施しました。

さらに、次世代層へのエネルギー・環境教育への支援活動を行い、教育委員会等への働きかけの結果、一部の小学校において、当会がPRする教材を活用した実践授業が実施された。

（主な取組実績）

- ・ 関西うちエコ診断推進協議会への協力（企業や社員への受診呼びかけ、集団受診の実施）
- ・ 夏季の適正冷房と軽装勤務の奨励
- ・ 「環境・エネルギー技術・製品事例集」の改訂とそれを活用した国内外へのPR
- ・ 中堅・中小企業向け「環境と省エネに関する勉強会」開催（9回）
- ・ 節電セミナー開催（3回）
- ・ エネルギー・環境教育に関する企業の出前講座メニューの提供
- ・ エネルギー・環境教育の教材のPR、教材を活用した授業実践への協力

平成24年度は、昨年度の取り組み内容の継続を基本に、実践目標を定め、より成果のあがるような取り組みを行う予定です。

（主な取組予定）

- ・ 関西うちエコ診断推進協議会への協力（企業や社員への受診呼びかけ、集団受診の実施）
- ・ 夏季の適正冷房と軽装勤務の奨励
- ・ 関西広域連合における「関西エコオフィス運動」の普及活動検討への支援
- ・ 「環境・エネルギー技術・製品事例集」の改訂、運用改善と国内外へのPR活動強化
- ・ 中堅・中小企業向けの環境活動促進のための勉強会、セミナーの開催
- ・ 学校や教員自らがエネルギー・環境教育を実践してもらうための支援、好事例のPR
- ・ 教育委員会が実施するエネルギー・環境教育推進活動への協力

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

(社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成 23 年度は従来と同様、関西広域機構の活動に積極的に参画しました。同機構の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視しました。

また、グリーン購入活動の推進などについても P R 啓発活動に取り組みました。

平成 24 年度も、「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視します。また、グリーン購入活動の推進などについても P R 啓発活動に取り組んでいく予定です。

今後は多様な環境問題について自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

<平成 2 3 年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ

<平成 2 4 年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ

大阪商工会議所は、会員企業の環境課題への対応に役立つ事業を様々な形で提供しています。

平成 23 年度は、環境施策の動向や環境経営の事例を 10 回シリーズで紹介する「環境問題研究会」をはじめ、企業に関わる環境・エネルギー情報を広く会員へ情報提供を行いました。また、経営者、経営幹部や環境部門責任者等を対象に、中小企業においても押さえておくべきと思われる重要な環境法令とその対応ポイントを分かりやすく解説する「中小企業のための環境法法令対応支援セミナー」を開催したほか、昨夏の節電対策にあたり「中小企業のための“節電”・“省エネ”対応セミナー」も開催し、企業の環境対応を支援しました。

また、水ビジネス分野への進出や水関連の機器・技術の向上を目指す府内企業を支援する事業（関西・アジア 環境・省エネビジネス推進フォーラム「水分科会」）や、創エネ・省エネ、環境先進対応など、環境・エネルギーのより広い分野で、アジア諸国に負けないハイエンド技術の開発、製品の創出を目指す大手・中小企業のマッチング事業（MOTT OSAKA フォーラム）も実施しました。

「夏季の適正冷房と軽装勤務」は 6 月 1 日～9 月 30 日にかけて実施しました。適正冷房（28℃）の推進と軽装勤務の奨励は、事務局における実施だけでなく、広報誌「大商ニュース」や HP を利用して会員企業への実施呼びかけ、館内随所にポスターを掲示し PR 活動を行いました。

平成 24 年度も、「環境問題研究会」や環境関連のセミナーを通じて企業経営に必要な環境関連情報を提供するほか、各種企業マッチング事業や「夏期の適正冷房と軽装勤務」も引き続き実施する予定です。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、その他

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、その他

平成23年度は、グリーン購入、スイッチオフ、アイドリングストップの推進について周知する従前の活動に加え、事業者団体ならではの取り組みとして、企業における環境保全活動を支援するための情報提供、あるいは環境対応をポジティブに捉え、ビジネスチャンスにつなげるための勉強会を行いました。その一端を下記に記します。

【省エネルギー対策への支援】

事業所における省エネルギーの推進は、企業の社会的責任として必須のテーマですが、何にどう取り組めば良いかの情報が不足しています。そこで、特に生産部門での省エネの具体的な方策について掘り下げ、研究会形式の情報提供を行いました。

照明、空調、モータ、ポンプ、コンプレッサ、ボイラといった工場内の各設備・機器に的を絞り、費用対効果を含めた省エネ改善の方法を学んでいただくことができました。

【創エネ、蓄エネに関する先進事例の情報提供】

昨年度は震災後の電力不足が懸念され、自然の力を活用した再生可能エネルギーによる発電が注目されました。そこで、新エネルギーシステムに関する動向を知り、自社技術の応用を考える場として研究会を開催しました。太陽光、風力、バイオマス、ごみ発電、あるいはスマートグリッド、スマートハウスなどのテーマで講演や見学会を行い、情報収集に役立てていただくことができました。

【エコカーなど自動車分野の環境技術を紹介】

自動車分野の環境技術は日本が世界をリードする立場にあり、業種を問わず企業の関心が高まっています。そこで、今回は自動車メーカーや部品メーカー、大学から技術解説を聴いたり、実際の生産工場を見学したりといった勉強会を行いました。名称は「次世代自動車テクノロジー研究会」と言い、環境技術の先進性とその用途を具体的に理解していただくことで、今後、中小企業においても自動車の低費向上や脱化石燃料化に向けた周辺技術の開発促進が期待されます。

平成24年度は、協会機関誌による地球環境問題への啓発活動を継続して実施するとともに、環境をテーマとした研究会活動や情報提供が好評だったことから、継続して実施できるものは、内容を工夫して新しい情報を取り入れて実施していきます。

事業者団体として、企業における環境対応を支援することが重要であると考えており、昨今とくに関心の高いエネルギー問題について、省エネルギーおよび創エネルギーの両面から新しい技術情報を発信していきたいと考えています。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

平成23年度は、中小企業の温室効果ガス排出削減対策の柱である「国内クレジット制度」を活用して一部組合に対し事業支援するとともに、本会の機関紙、ホームページ及びメールマガジン等を活用し環境に関する施策の情報提供や豊かな環境づくりについての啓発に努めました。

また、「エコアクション21認証・登録制度」の普及・啓発について、本会が大阪府域の地域事務局として中央の認定を受け、中小企業組合に対し積極的な支援活動を行いました。

平成24年度は、中小企業において取組みが遅れている温室効果ガス排出削減対策の柱である「国内クレジット制度」や「エコアクション21認証・登録制度」など、組合等が今後重要な役割を果たすものと期待されている施策について引き続き積極的な支援活動を実施します。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

平成23年度は、

I、日本百貨店協会として全国統一で、各百貨店の環境対策担当者を中心に「百貨店のための地球温暖化対策、夏季、冬期の電力需給対策」と題して、各省（経済産業省、資源エネルギー庁、環境省 等）の方にお越し頂きレクチャーを受講。

II、関西電力管内の夏季、冬期の節電対策

- (1) 「夏の節電対策」を7月1日～9月22日まで全国の百貨店を対象に照明、空調、昇降機等の節電対策を実施（目標10%削減）
 - ①統一ポスター、ステッカー、節電ガイドライン、チェックリストの作成
 - ②気象予報士根本美緒氏、岡田武史氏による店内放送での節電の呼びかけ
 - ③クールビズの取組も実施
- (2) 「ライトダウンキャンペーン」を6月21日夏至の日、7月7日七夕の日に実施。
- (3) 「冬期節電対策」を12月1日～3月31日を実施
 - ①関西地区は12月19日～3月23日まで、10%以上の節電目標で実施
 - ②ウオームビズの取組実施
 - ③お客様、各家庭における節電対策を呼びかけ

III、容器包装の削減と温暖化ガスの削減の取組として、

「デパートでも、マイバック」「デパートへも電車とバス」のポスターを店内に掲示してPRを展開。

IV、スマートラッピングの普及推進

「スマート・クール・バック」（保冷タイプ、カーボン・オフセット付き）を作成して全国の百貨店で300円にて販売。

平成24年度も、基本的には、23年度実施をベースに継続します。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

H23年度はレジ袋の削減の取組として、行政・市民団体と会員各社との協定締結や協働で店頭キャンペーンを実施して啓発に努めました。また、チェーンストア協会全体ではマイバッグの持参率がH24年1月度末で36.6%まで上昇しました。

また、ゴミの減量化・廃棄物の削減の取組として通常の店頭回収品目（ペットボトル、トレイ、缶、牛乳パック）とは別に透明トレイの回収も一部企業で開始しました。

地球温暖化対策として、会員会社において店舗の温度設定の見直しや、照明の一部カット等で省エネに取り組みました。また、更に省エネ設備の更新や新規導入等の実施等にも取り組めました。

H24年度は引き続きマイバッグの持参運動を行政・市民団体との協働で実施する予定です。

【大阪市、吹田市で協定の延長を予定】

また、ゴミの減量化対策として売場内での盛売り・量り売りの品目拡大と同時に、使用するトレイの肉薄化・軽量化を図ります。

食品リサイクルの対応として、食品残渣の総発生量の抑制に取り組めます。

地球温暖化対策として、省エネ取組みの継続と設備の更新を実施します。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、その他

団体名 大阪府小売市場総連合会

HP

平成23年度の各項目別の活動状況は、目標どおり達成できました。

○ごみ減量化推進運動として、通年にわたり消費者に協力を呼びかけ、マイバックの持参、包装紙の簡素化を推進。

○ごみの減量化、リサイクルの推進を図るため、理事会等の会員が集まる会議で環境問題を取り上げ、啓発を行う。

○小売市場周辺路上における違法駐輪の防止を消費者に呼びかけるとともに駐輪場の整理整頓を実施。

平成24年度は、平成23年度と同様な施策を実施する予定です。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、III、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、III、その他

団体名 大阪府商店街連合会

HP

平成23年度は、平成23年3月の役員研修会において、「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知した。

平成24年度は、理事会、役員研修会等において「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知するとともに、会員には機関誌「府商連新聞」において周知啓発する。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> V、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> V、その他

団体名 地球環境関西フォーラム
 HP <http://www.global-kansai.or.jp/top.htm>

平成23年度は、主に以下の活動を実施しました。

○実践活動

- ・民生分野における温暖化防止施策の支援
 平成22年度設立した関西うちエコ診断推進協議会の枠組みを活用し、特に関経連と連携して、企業によるうちエコ診断の集団診断を試行した。
- ・第8回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施
 過去最多となる応募426作品の中から優秀な作品を選定し、公開の場で表彰式を開催すると共に、新聞や公共施設等での展示をとして、作品を紹介した。
- ・大震災の教訓をふまえた関西のまちづくりを産官学で検討

○情報発信

- ・温暖化防止の国際貢献を説く地球温暖化対策シンポジウムを開催
- ・循環型社会形成に向けたライフスタイルに変革することをめざした市民講座の開催、関連して、3Rの必要性を謳った女性向け啓発資料の作成
- ・ホームページ（以下HP）、冊子による情報発信
- ・HPコンテンツ「エコロジカルな住宅と住まい方」に、関西2府4県およびその府県下の市の住宅向け環境関連補助・助成制度の最新情報を付加

○連携・国際協力

- ・中国との定期的な環境交流を進めるため、中国社会科学院の環境部門責任者を招聘し、事前協議を実施。
- ・中堅企業向けに、関経連と共催で、エコアクション21と省エネに関するセミナーを開催

平成24年度も、地球温暖化対策、低炭素社会や循環型社会の構築、持続可能な都市再生、生物多様性保全、環境技術面でのアジアへの貢献や環境意識啓発などに関し、これまで行ってきた基本的な施策を、大学、自治体、産業界、NGOその他の機関と連携を図りつつ、継続実施する予定です。

○実践活動

- ・民生分野における温暖化防止施策の支援事業の本格実施（関西うちエコ診断推進協議会の枠組み活用）
- ・第9回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施

○情報発信

- ・災害に強いまちづくりのための社会提言発信と関係シンポジウムを開催
- ・循環型社会形成に向けたライフスタイルに変革することをめざした市民講座の開催と女性向け啓発資料の配布、活用
- ・HP、冊子による情報発信

○連携・国際協力

- ・中国との定期環境協議開催による人材交流
- ・中堅企業セミナーの開催

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

団体名 財団法人大阪みどりのトラスト協会

HP <http://www.ogtrust.jp/>

平成元年に設立した財団法人大阪みどりのトラスト協会は、平成24年度から公益財団法人大阪みどりのトラスト協会として新たにスタートをしますが、引き続き大阪府内に残された貴重な自然環境を保全するとともに「緑の募金」運動を通じて市街地の緑化や森林整備を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与することを目的とした事業を実施していきます。

平成23年度は、和泉葛城山ブナ林、三草山ゼフィルスの森での保全活動や大阪府自然環境保全地域（5箇所）への保全助成、能勢町地黄湿地、和泉市信太山惣ヶ池湿地等の貴重な自然環境の保全活動や能勢町歌垣の森等での里山保全活動、生物多様性保全活動を地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々とともに保全作業や生き物調査、自然観察会等を行いました。

「緑の募金」事業では、市街地の緑化活動、里山の森林整備、学校ビオトープづくり等を行うNPOやボランティア等の活動に助成するとともに、教育施設での木の香る快適な学習環境づくりにも助成を行いました。

平成24年度についても引き続き、大阪府と連携した自然環境保全事業として、「和泉葛城山ブナ林」や「三草山ゼフィルスの森」、大阪府自然環境保全地域（5箇所）、能勢町地黄湿地、和泉市信太山惣ヶ池湿地、大和葛城山等での生物多様性保全事業や里山保全事業を、地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々の協力を得て保全活動作業や生き物調査、自然観察会等を行います。

また、当協会の自主事業として、ボランティア養成講座の開催、生物多様性や里地里山保全のモデル事業として「大阪 SATOYAMA ランド」事業に着手します。

府内唯一の「緑の募金」の指定団体として行う緑の募金事業では、募金キャンペーンとして春季（3月1日から5月31日まで）と秋季（9月1日から10月31日まで）に集中取組み期間に募金運動協力団体の協力を得て街頭募金を行うとともに、企業募金、職場募金、学校募金などに取組みます。

また、緑の募金を活用してNPOやボランティア団体、教育機関等が行う市街地の緑化や森林の整備、学校ビオトープづくり、教育施設での木の香る快適な学習環境づくり等への助成を通じて、緑化活動や里山の保全活動等による地球温暖化防止のための府民運動を推進します。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

●平成23年度は以下の5項目を実施した。

大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化防止への取り組みに対する府民の参加を促すため、複数のNPOを事業主体とした学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO2削減事業を推進するための事業を実施した。また、家庭分野のCO2排出削減を目的とした事業に取り組むとともに、大阪府と連携した「大阪版カーボン・オフセット制度」の推進、その他のCO2排出抑制事業を実施した。

(1) 地域で活動するNPO支援・連携促進事業

複数のNPOを事業主体とした学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO2削減事業を推進した。

(2) 家庭のエコ診断事業

家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、導入可能な対策メニューと、削減したエネルギーにより節約される経費による投資回収見通し等を提案することで、ライフスタイルの改善やエコ家電の導入等によるCO2排出量の削減を推進した。

(3) 大阪府との連携

- ・カーボンオフセット・クレジットの創出・活用を促進するため、中小企業者を対象とした大阪版カーボン・オフセット制度を推進した。
- ・「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などにおいて、省エネ機器の導入による効果把握調査等を支援した。

(4) フードマイレージの削減

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行った。

(5) 節電対策の推進

東日本大震災の影響を受け、深刻な状況にある電力事情を踏まえ、全国の地球温暖化防止活動推進センターと連携し、「節電共同行動」として、『家庭ですぐ出来る節電21』等、大阪府民に対する節電対策の啓発活動を行った。

●平成24年度の活動予定

(1) 地域で活動するNPO支援・連携促進事業

複数のNPOを事業主体とした学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、NPOのアイデアを最大限活かし、草の根のCO2削減事業を推進するため、コンソーシアム事業の進行管理を行うとともに、事業の取りまとめ、会計責任幹事として参画し、温室効果ガスの削減に直接的に貢献し、削減効果を明確に示すことが出来る事業を実施する。

(2) 家庭のエコ診断事業

全国地球温暖化防止活動推進センターが、環境省の競争的資金事業「家庭エコ診断推進基盤整備事業」を獲得した場合、次のとおり実施する。

診断を希望する家庭を対象に、家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、太陽光発電の導入、住宅のエコリフォーム、エコ家電の導入、日常のエコ活動など家庭での取り組みごとに、温室効果ガスの削減量と対策に必要な費用、投資回収見通しなどを提案する事業を実施する。

診断する者は、推進員の中から希望するものに対し、必要な講習を実施し、講習修了者を診断員として認定する。

(3) 大阪府との連携

・大阪版カーボン・オフセット制度におけるオフセット・クレジット仲介機関設置・運営事業
昨年度までに大阪府と共同して構築した大阪版のカーボンオフセット制度の運営に向け、クレジットの仲介機関として、オフセット・クレジットの創出支援、及び売り手と買い手のマッチングを行い、中小事業所における温室効果ガスの排出削減を推進する。

・地域協議会事

地域協議会事業に協力するため、構成員、委員及び事務局の担当として次の地域協議会に参画する。特に、「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などにおいて、環境省の補助金を活用して実施した外食店舗における既存の照明設備、空調・冷蔵・冷凍設備等を省エネ型の機器に更新した事業の効果把握調査などを支援する。

(4) フードマイレージの削減

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行う。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ

団体名 大阪府リサイクル社会推進会議

HP <http://www.epcc.pref.osaka.jp/warec/index.html>

(平成23年度活動報告)

平成23年度は、平成22年度に引き続き、「リサイクルアクションプログラム」の普及・啓発及び進行管理に重点をおいた取り組みを進めてきました。

住民団体、事業者、行政において様々な取組みがなされたほか、当会議として「環境にやさしい買い物キャンペーン」及び「NO!!レジ袋デー」のほか「エコショップ制度の普及促進」や「マイバック持参運動の推進」など幅広い活動を行いました。

地デジ移行による使用済みテレビの排出や不法投棄の増加に対応するため、ワーキンググループを設置し適正な家電リサイクルのちらしを作成・配布するなど、普及啓発に取り組みました。

(平成 24 年度活動方針)

住民団体・事業者団体・府・市町村等で構成する大阪府リサイクル社会推進会議は、「リサイクルアクションプログラム」に基づき、住民・事業者・行政がそれぞれの役割分担の下に、リサイクル社会の推進に向けたパートナーシップによる取り組みを進めます。

平成 24 年度は、平成 23 年度に引き続き、構成団体を中心に簡易包装・マイバックの持参の推進やエコショップ制度の普及など、共通行動メニューに基づく事業を実施するとともに、リサイクル社会を推進するための各種調査や地域に根ざした啓発活動などに力を入れて取り組みます。

併せて平成 24 年 3 月に策定された「大阪府循環型社会推進計画」との整合を図りながら、「リサイクルアクションプログラム」の改訂に取組み、平成 24 年度中の改訂を目指します。

<平成 23 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II

<平成 24 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II

団体名 大阪自動車環境対策推進会議

HP <http://www.pref.osaka.jp/kotsukankyo/hai gasu/suisin.html>

【平成 23 年度活動報告】

大阪自動車環境対策推進会議は、大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化防止に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進しています。

平成 23 年度は、事業者におけるエコカーの活用やエコドライブの実践を促すため、これまで実施してきた「大阪グリーン配送推進運動」などを拡充した「交通エコチャレンジ推進運動」を立ち上げ、当該運動に取り組む事業者を募集・登録するとともに、登録事業者名やその取組内容等をホームページなどで公表しました。また、優れた取組みに対する顕彰制度を創設し、平成 24 年度からの顕彰実施に向けて、審査及び選考基準等について検討を行いました。

また、環境にやさしいエコカー（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、クリーンディーゼル乗用車、プラグインハイブリッド車、超低燃費車等）の包括的・中長期的な普及戦略である「大阪エコカー普及戦略」に基づき、エコカーの普及促進を図りました。

さらに、上記の取組みに加えて、公共交通機関の利用促進、流入車規制などについて、府民、事業者に対する啓発活動を行いました。

【平成 24 年度活動方針】

大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化防止に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進していきます。

平成 24 年度は、事業者におけるエコカーの活用やエコドライブの実践を促すため、引き続き「交通エコチャレンジ推進運動」に取り組む事業者の募集・拡大に努めるとともに、推進事業者の優れた取組みを顕彰する「おおさか交通エコチャレンジ賞」の実施により、取組み事例の周知と推進運動の拡大を図ります。

また、エコカーの普及、流入車規制、公共交通機関の利用促進等について、ポスターやリーフレット、構成員の広報誌や機関誌、研修会等を通じて、事業者や府民に対する啓発活動を行います。

<平成23年度に取組を行った重点行動の項目番号> IV、その他

<平成24年度に取組を行う重点行動の項目番号> IV、その他

団体名 大阪美しい景観づくり推進会議

HP http://www.pref.osaka.jp/kenshi_kikaku/keikan-ustukushii/suishinkaigi.html

平成23年度は、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信により、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進してきました。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」の更なる活用に向け、私鉄を中心に働きかけを平成22年度からの継続として行いました。今後も関係機関等への働きかけを続け、府民と一緒に大阪の景観について考え、美しい景観づくりの推進に努めます。

今後もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、

参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

大阪美しい景観づくり推進会議は、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを、より実効性あるものとして推進していくために、共通目標の設定や情報交流、ネットワーク化などによる、景観づくりの取り組みを進めています。

平成24年度は、昨年度に引き続き、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会等の取り組みにより、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進していきます。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」の更なる活用に向け、さまざまな利用を検討し実施していきます。

参画団体の活動をさらに充実したものへとするためにも、参画団体同士の連携したイベントの実施や共通の問題意識等を抱えた団体の意見交換等の場の設置、関係市町村との連携促進等を検討していき、実施していきます。

今年度もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

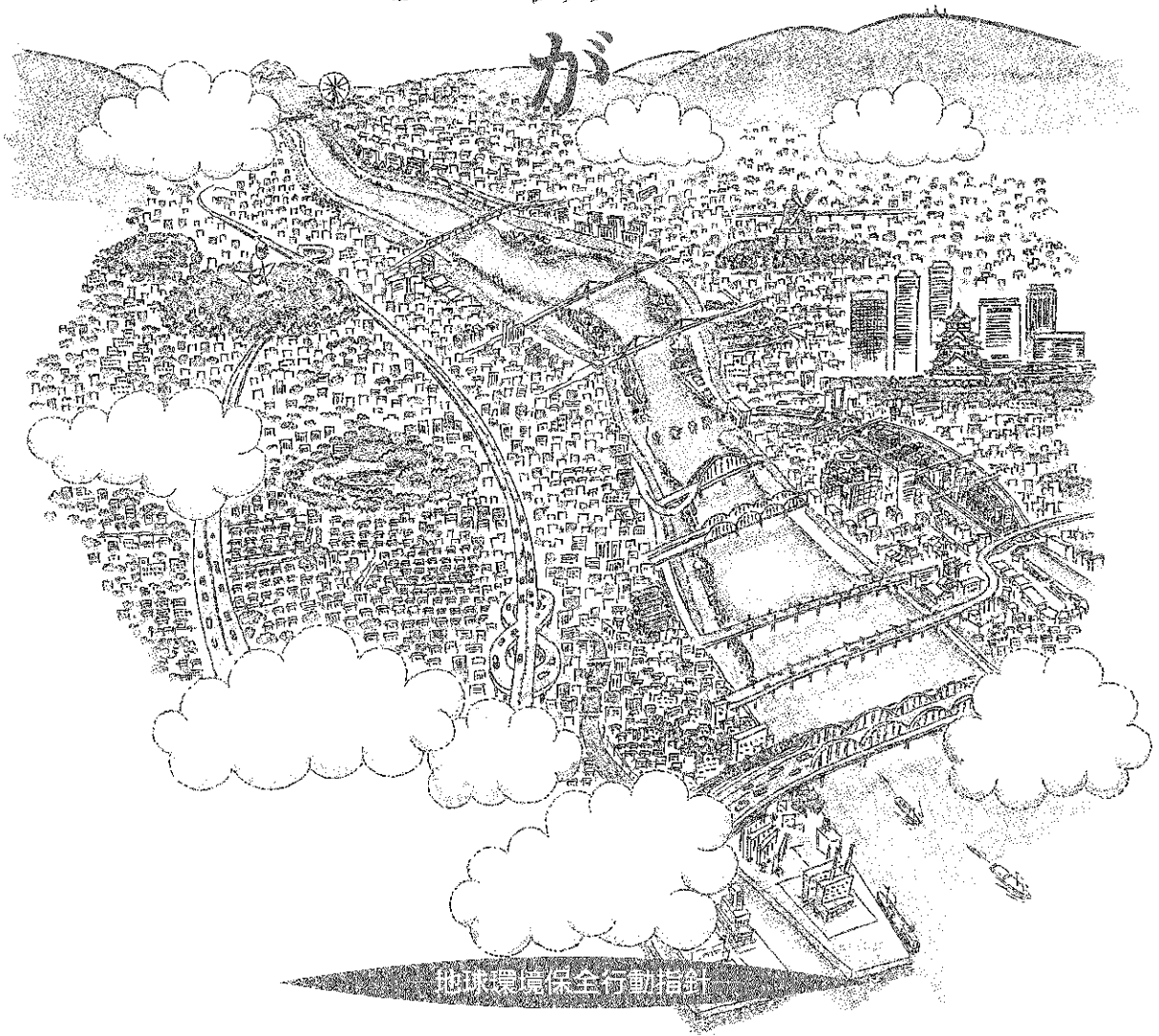
事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

<平成23年度に取り組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、その他

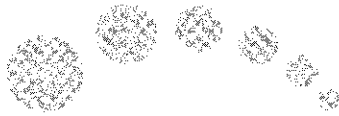
<平成24年度に取り組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、その他

【資料編】

身近な環境
愛する心と行動が
地球環境を守る



はじめに



あふれるような緑、鳥やトンボたちが自由に青い空を舞い、きれいな川には魚が泳いでいる、多くの生命が輝いている環境。それは、私たち人間にとっても、心地よい豊かな環境です。大都市に生活する私たちも多くの生物の一員であり、自然の微妙なバランスの中で生きているからです。

私たち人間は豊かな自然の仕組みを上手に利用することによって、暮らし、活動してきました。大阪は、そんな人々の営みの長い歴史を通して発展してきたまちです。

大阪ではこの100年の間に急激に都市化が進み、便利で快適な生活に、私たちは大きな自然の恵みの中で生きていることを忘れがらになっています。そして、大量にモノが生産・消費され、ゴミとなって廃棄されるなど、私たちのいろいろな活動が、かけがえのない地球の環境を壊しはじめています。

以前、身近に見かけたメダカやトンボ、カエルが、今ではあまり姿を見せなくなっています。きれいになったように見える川も、川底が汚れていたり、川に住む生き物が産卵する場所やエサになる生物が見つからないなど、生きにくい環境になっているのです。そして、多くの生命を育む数も減ってきています。

でも、淀川では、ワンドにいる魚や獲り鳥、風にそよぐヨシ原を見つけることができます。そして、秋には美しく彩られる山もあります。

私たちが受け継いだ自然の恵みを子どもたちに伝えていくために、もっと、身近な環境を養う美しいまちにするために、まちや暮らしを自分の感覚で感じてみませんか。

そして、豊かな環境を実現し、美しい地球を守るために、大阪らしい合理的な精神と規律的な行動で、できることから始めてみませんか。

歩く、みる、感じることから始めませんか。

身近なところを歩いたり、みたり、感じたりしてみませんか。そして、日々の生活をみつめてみませんか。

「環境問題なんて自分とは関係ない、自分一人で考えてもしかたがない」と、

思われるかもしれませんが、でも、ほんとうにそうなのでしょうか。

自分のいるまちや、身近な自然がもっと良くなれば、という思いはだれもがもっているはずです。

もっと、良くするために、もう一度、身のまわりのようすや自分の暮らしぶりなど、

身近なことから振り返って、そして、みんなで考えてみませんか。

まず、自分の眼でみて、自分の感覚で、感じることから始めてみませんか。

あなたのいる
まちなかのくじを
歩いてみませんか

- ◎ 家や職場のまわりを観察してみませんか
- ◎ まちの中をゆっくり歩いてみませんか
- ◎ 夜空を眺めてみませんか

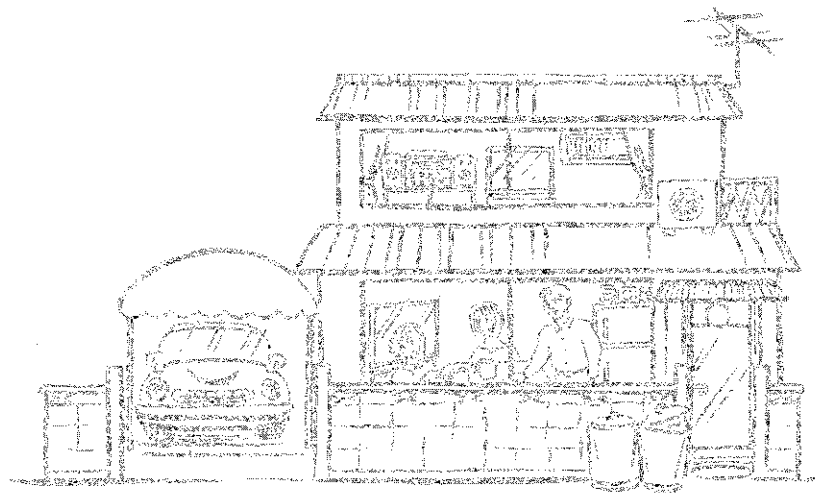
身近な自然に
ふれてみませんか

- ◎ 近くの川や池、海に行ってみませんか
- ◎ 周辺の野山をハイキングしてみませんか

暮らしや
行動スタイルを
みつめてみませんか

- ◎ 便利で快適な生活をみつめてみませんか
- ◎ 自らの行動スタイルをみつめてみませんか

あなたのまちや、身近な自然、
暮らしや行動スタイルを、
少し視点を変えて眺めてみませんか。



身近な環境はどのようにみえますか。 暮らしや行動スタイルはどうですか。

見られたまちや公園、いつもの生活。

でも、少し気分や視点を変えて身のまわりのようすをみると、
いろんな新しい発見や疑問がでてくるのではないのでしょうか。

知らず知らずに見逃していることはないですか。

身近な環境はどのようにみえますか。暮らしや行動スタイルはどうですか。この質問は、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。例えば、通勤や通学にどのような手段を使っているか、買い物や食事のスタイルはどのようなものか、といったことが、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。

- 街なみや家なみはどうですか
- 並木道や生け垣はありますか
- 電柱や看板はどうですか
- 交通渋滞や不法駐車はありますか
- ゴミや空き缶が落ちていませんか
- においや音はどうですか
- 星度はいくつみえますか

身近な環境はどのようにみえますか。暮らしや行動スタイルはどうですか。この質問は、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。例えば、通勤や通学にどのような手段を使っているか、買い物や食事のスタイルはどのようなものか、といったことが、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。

- 近くの公園や野原はどうですか
- 畑や田んぼのあぜ道、水路はどうですか
- 近くの山や森は秋に色づきますか
- トンボやチョウ、ホタルはみつけられますか
- どんな鳥や魚がいますか
- 川や池のそばに近づくことができますか
- 川や海の色は何色ですか
- 自然の砂浜や磯はありますか

私たちはいろんなことでまわりの環境に影響を与えています。
例えば、何気なく使っているモノでも、それを作るとき、運ぶとき、捨てるときにおさるいろんなことを考えてみましょう。

身近な環境はどのようにみえますか。暮らしや行動スタイルはどうですか。この質問は、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。例えば、通勤や通学にどのような手段を使っているか、買い物や食事のスタイルはどのようなものか、といったことが、私たちの生活にどのような影響を与えているかを考えるきっかけになります。

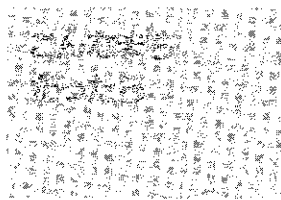
- モノやエネルギー、水を大切に使っていますか
- 近くへ行くのに自動車を使っていませんか
- ゴミにならないモノ、環境にやさしい商品を選んで買っていますか
- 資源の回収やリサイクルをしていますか
- 適正な包装にしていますか
- 油を直液、台所の流しに捨てていませんか
- 環境にやさしい製品づくりやサービスをしていますか
- 環境にやさしい活動に参加していますか
- 環境教育などに取り組んでいますか

何か新しい発見や疑問がありましたか。
どのように感じましたか。

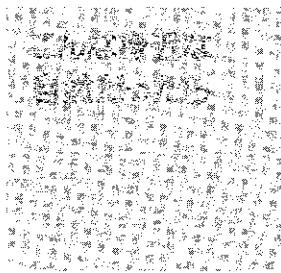


どうあればいいと思いますか。

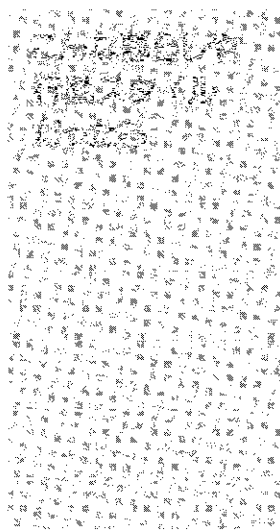
子どものころや昔のようす、いろんなまちや自然のようす、
思い出したり、くらべてみるうちに、
「まちや身近な自然がこうだったらいいな」、「これから、どんなことを始めよう」など、
いろんな思いに気付く人が多いのではないのでしょうか。



- 気持ちのいい美しいまち
- もう少しゆとりのあるまち
- 人に迷惑をかけないまち
- ……………
- ……………

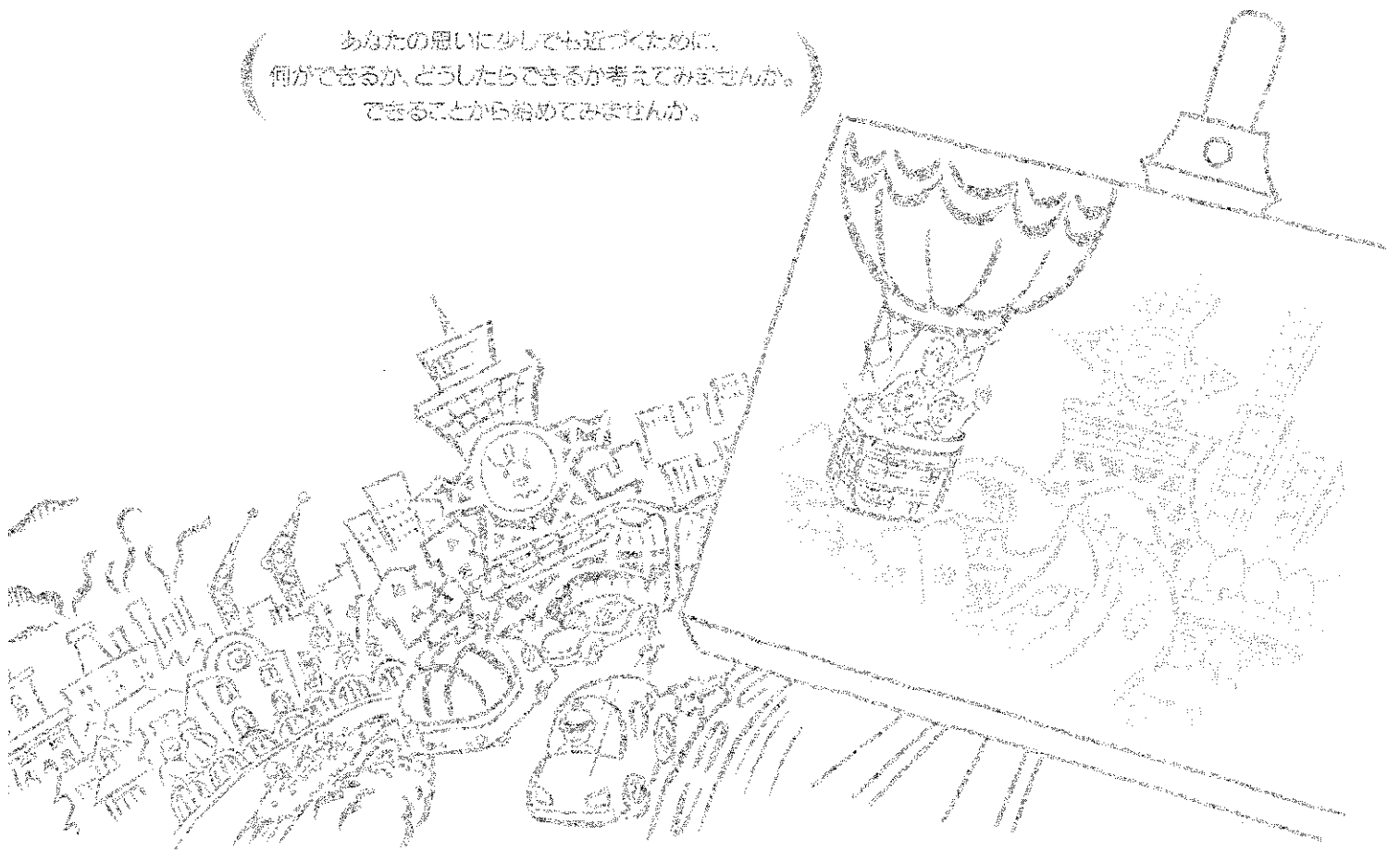


- 小さな自然の営みを感じられたら
- 美しく変化する自然の姿を楽しめたら
- 自然のやすらぎを感じられたら
- ……………
- ……………



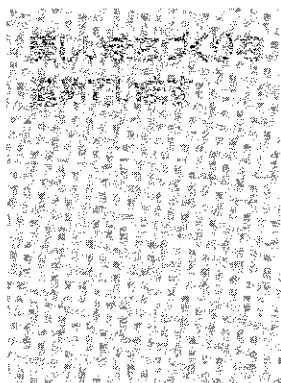
- モノや水、エネルギーをもっと節約できたら
- ゴミを減らしたり、リサイクルがもっとできたら
- 環境にいいことをみんなで作ったり、始められたら
- ……………
- ……………

あなたの思いに少しでも近づくために、
何ができるか、どうしたらできるか考えてみませんか。
できることから始めてみませんか。



私たちはこんなことに取り組んでいます。

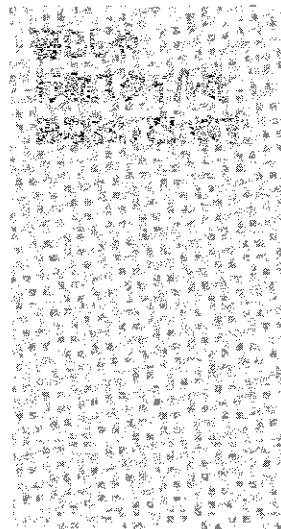
環境を良くするために、いろんな取り組みが始まっています。
私たちが取り組んでいる環境にやさしい行動を中心にまとめてみました。



- 近くの公園の掃除をしています
- 空き缶を拾い集めています
- 捨てられた自動車の問題について調べています
- 違法駐車をなくすよう取り組んでいます
- 自動車使用の合理化を呼びかけています
- 美しい景観づくりを進める運動をしています



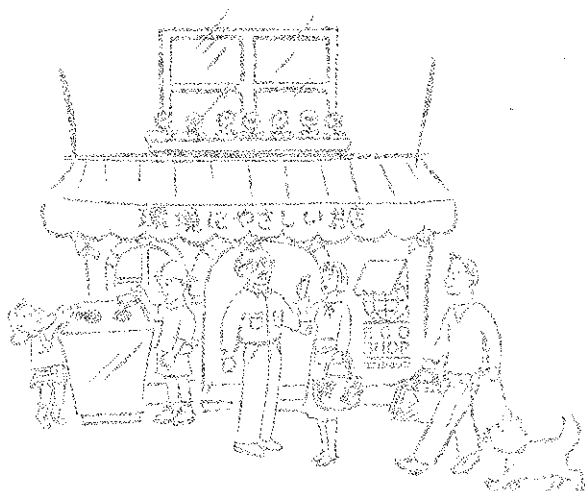
- 花や緑を植えています
- 野鳥の観察など野外で自然への理解を深めています
- プナ林や貴重なチョウを守るためにトラスト運動を進めています
- 貴重な自然を守るために、データの収集をしています
- 河川浄化のための活動を進めています
- 環境にやさしい農業に取り組んでいます



- 古紙回収などのリサイクルを実践しています
- 包装紙・トレイなどのゴミ問題に取り組んでいます
- 簡易包装を進めています
- 再生品の利用を進めています
- 節水や節電を進めています
- エコマーク商品や低公害車の購入を進めています
- 環境にやさしい商品を販売するエコショップを展開しています
- 社内で環境管理や環境監査に取り組んでいます



- 取り組みや調査結果をレポートし配付しています
- シンポジウムの開催など啓発活動をしています
- 子どもたちが遊びを通じて環境を学習できる機会をつくっています
- 環境教育の指導者育成や従業員教育をしています
- 情報交換をしています
- 草の根レベルの活動を支援しています
- 地域の活動と連携しています
- 国際的な交流や協力などに取り組んでいます



いろいろなことを、もっとたくさんしていきたいのです。
「まなや自然、暮らしや行動スタイルがこうだったら」
との思いを実現するために、
みんなと一緒に取り組んでいきませんか。

みんなで取り組んでいきませんか。

一人でもできることがあります。

例えば、環境を考えた日常の買い物や生活の仕方などです。

そして、さらにみんなで取り組んでいけば、

もっとたくさんのことができるのではないのでしょうか。

自分の身のまわりでは

- これからやりたいこと、やって欲しいことを話しあいませんか
- 身のまわりのこと、みんなでできることを考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互いに協力しながらみんなで取り組みませんか
- もっと多くの人に参加することの楽しさを伝えてみませんか
- いろいろな行事に気軽に参加してみませんか
- いろいろな情報を広めてみませんか
- どれだけできたか、話し合ってみませんか
- 取り組んできたこと、集めた情報を将来の世代に伝えませんか

おなじ地域では

- 環境にやさしいサービスや商品になっているか調べてみませんか
- 生産から廃棄まで、環境にやさしい製品とは何か考えてみませんか
- 環境にやさしいサービスや製品づくりで実現できることは、すぐに実行しませんか
- 連携したらできることは、一総に取り組みませんか
- 地域の一員として環境保全活動に参加しませんか
- 取り組んでいる環境保全活動をPRしませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境を大切にするとお店や会社になれるような体制にしませんか

地域づくりでは

- 地域の人が、どのような環境を求めているか調べてみませんか
- 環境にやさしい地域がどうしたらできるか考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりを進めませんか
- みんながもっと取り組めるよう情報を広めませんか
- 環境学習や教育、啓発を進めませんか
- 地域活動やエコビジネスを支援しませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりができる体制やルールをつくりませんか

（テーマを毎年決めて、お年寄りも障害を持つ人も
子どもたちも一緒に
みんなで取り組んでいきませんか。）

行動の輪を広げませんか。

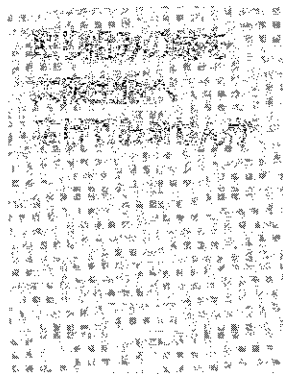
取り組みの輪を大阪全体に広げてみませんか。

私たちの日々の生活は日本中の、そして世界中の人と資源によって支えられています。

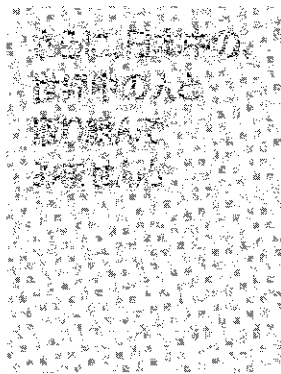
そして、私たちの環境も、他の地域や世界と密接に関係しています。

日本中の、そして世界中の人の暮らしや環境も、大阪と同じように大切なものです。

それぞれができることを、お互いに協力しながら取り組んでみませんか。



- 地域の人やお店や会社、グループが一緒になって取り組んでみませんか
- 取り組みの輪を、地域から市町村全体に、そして大阪府全域に広げてみませんか
- いろいろな取り組みを一つの大きな力にして、豊かな環境都市大阪をつくっていきませんか



- 日本中の、世界中の人がどんな取り組みをしているか学んでみませんか
- 大阪でやっていることを知ってもらいませんか
- 協力してできることは何か考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互い協力しながら取り組んでみませんか

いろいろな地域や国々の人、グループ、企業、自治体との出会いでは、まず相手のことを知り、自分たちのことを知ってもらうことが第一歩です。その中から、新たな輪を広げていきませんか。



みんなの行動が地球環境を守ります。

「お月さんが笠をかぶると明日は雨」、「なすびの豊作は稲の豊作」、「木のてっぺんの柿は鳥の柿さんに」。かつて日本では、いろいろないつたえやことわざで自然の仕組みを教え、人々は自然の循環を上手に利用することで豊かな自然と共に暮らしてきました。そして、モノの命を大事にし、恵み深い自然、恐ろしい自然を日々の生活に感じていました。

現在の私たちは、どうでしょうか。何気なく読んでいる新聞や雑誌、おいしくいただいている食事、快適なドライブ。豊かな生活を支えるための生産活動や流通。それらに使う資源やエネルギーの多くは、世界中から大急ぎで集められたものです。

何気なく送っている生活や活動によって、世界の人々の暮らしや、森林や海、動物などの生命に大きな影響を及ぼすだけでなく、将来の世代にも影響を与えると心配されています。昔の生活で大切にされていたもの、時間のゆとりや自然の豊かさ、人間関係の細やかさ、そういうことが、本来の豊かな生活だということ。もう一度、思いをおしてみませんか。今までどおりの生活を送っているのは、私たち人間が生活できる地球ではなくなるかもしれません。

身近な環境を、自分の眼でみて、感じる。暮らしや行動スタイルをみつめる。そして、新しい発見や疑問に気付くことで、環境を良くしていくために、暮らしや行動について、できることから具体的に取り組みを始めていく。そんな、小さな取り組みが積み重なって大きな力となり、地球環境を守ることになると思っています。

————— 小さな行動の一つひとつから地球にやさしく！ 隣町・大阪 —————
————— 身近な環境を守る心と行動 その輪の広がりが地球環境を守る —————
————— 限られた地球 その豊かさを引き継ぐ気遣い シンプルライフ —————

私たちは、今後、この地球環境をともに目標を決め、
その実現のために具体的な行動計画をつくって、
実践的な取り組みを進めています。

みんなの思いを繋ぎませんか。



豊かな環境づくり大阪府民会議

大阪 21 世紀の新環境総合計画（概要）

■計画の位置づけ

豊かな環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本条例に基づき策定するもの。また、大阪府の 2025 年の将来の姿を現した「将来ビジョン・大阪」に示された「水とみどり豊かな新エネルギー都市」実現の道筋を具体化し、広く大阪府の環境施策に関する基本方針や具体的手順を示すもの。

◇大阪府の環境を取り巻く課題

地球温暖化の防止

世界の温室効果ガスの排出量は、工業化以降、人の活動により増加しており、そのまま放置すると、世界の気候システムに多くの変化が引き起こされる可能性があるとして報告されている。高度に都市化が進み、様々な産業が集積している大阪からは、温室効果ガスが多く排出されている。

資源の循環的利用

わたしたちの暮らしを支えている鉱物・石油などの天然資源は有限である。人口の集中する大阪では、多くの資源が消費されており、家庭や事業場から出る廃棄物は、リサイクルや減量化された後、大阪湾に設けられた処分場等に最終処分されているが、その容量には限界がある。

生物多様性の保全

人の活動の影響等により、多くの生き物が絶滅の危機に瀕しており、生物多様性の保全が課題となっている。大阪では都市化の進展等によって良好な生息環境が損なわれ、人と自然のつながりも希薄になっている。

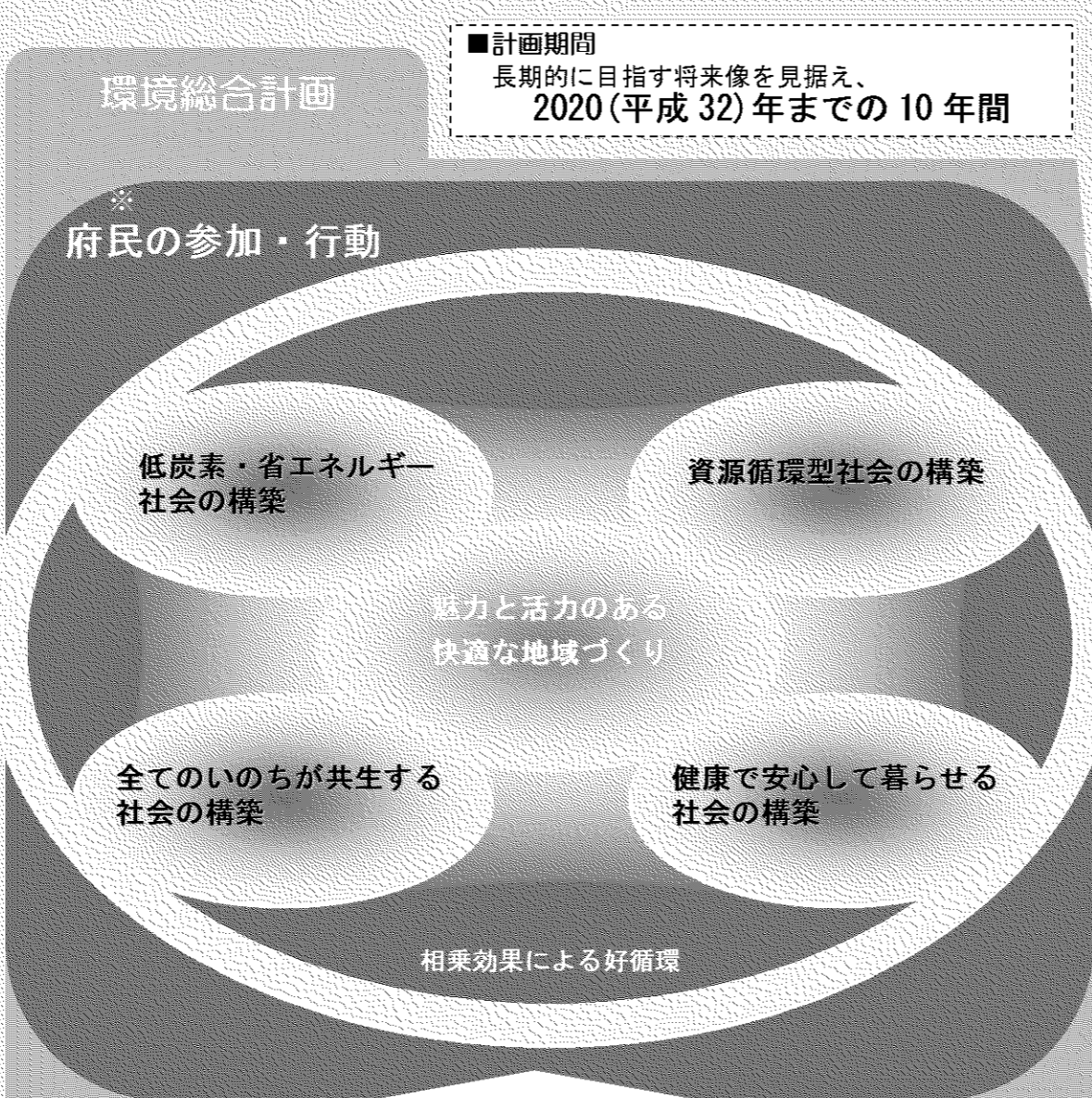
健康的な暮らしの確保

大気環境や水環境は改善が進んでいるが、光化学オキシダントや大阪湾の水質など、環境保全目標の達成が困難な項目もある。また、事業活動や日常生活の中で、様々な化学物質が製造され、使用されており、環境や人への影響が懸念されるものもある。

魅力と活力ある快適な地域づくり

大阪は、多くの人が住み、働き、訪れる地域であるが、ヒートアイランド現象、騒音・振動等の都市特有の問題や、「みどりが少ない」、「雑然としている」などマイナスイメージがある。

◇計画の全体構成（施策展開のイメージ）と将来像



■計画期間
長期的に目指す将来像を見据え、
2020(平成 32)年までの 10 年間

施策推進に当たっての視点

- ・ 環境と成長の両立に向け、あらゆる分野への環境の視点の組み込み
- ・ 地域主権の確立・広域連携の推進

計画の効果的、効率的な推進

※「府民」とは大阪府に住む人だけでなく大阪府に関わる全ての人を指す。

分野ごとの長期的将来像 (概ね 2050 年頃)

低炭素・省エネルギー

建物の高断熱化や機器の省エネ・省CO₂化が飛躍的に進み、再生可能エネルギーやCO₂排出量の少ない自動車が多く普及しているなど、温室効果ガスの排出量が 1990 年度から 80%削減されている。

資源循環

資源の循環的な利用が自立的に進む社会が構築され、廃棄物の排出量が最小限に抑えられている。また、生じた廃棄物はほぼ全量が再生原料として使用され、製品として購入されることによって循環し、最終処分量も必要最小限となっている。

全てのいのちが共生

生物多様性への人々の理解が進み、生物多様性に配慮した行動によって、豊かな森林、農空間、里地・里山、河川、海等が維持されている。また、生息環境を回復するための取組みが各地で行われた結果、大阪は身近に生き物と触れ合える、水とみどり豊かな都市となっている。

健康で安心して暮らせる

環境保全目標を全て満足し、澄みわたる空、深呼吸したくなる大気となっている。人の健康が保全されるとともに豊かな生態系が育まれ、身近に人と水がふれあえ、生活に潤いをあたえる水環境となっている。環境リスクの高い化学物質の排出削減が進むとともに、リスク管理やリスクコミュニケーションが定着し、化学物質によるリスクが最小化されている。

魅力と活力ある快適な地域

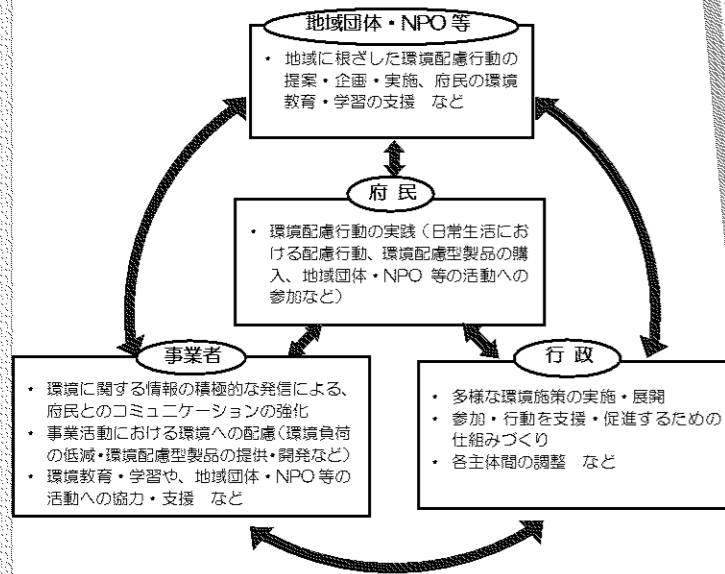
ヒートアイランド現象が緩和されるなど、快適な生活環境が確保された、みどりが多く、豊かな水辺や歴史・文化が活かされた、「暮らしやすい」「働きやすい」「訪れたい」都市となっている。

目指すべき将来像
※府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市

◇分野ごとの目標と施策の取組方針

府民の参加・行動

将来イメージ



- ・ 府民、地域団体・NPO、事業者、行政等の各主体が積極的に参加し、自ら行動する社会
- ・ 各主体が相互に連携して行動することにより、相乗的な効果が発揮されている社会

施策の方向

●あらゆる主体が日常的に環境配慮行動に取り組む社会の実現を目指し、環境問題への気付きの促進と環境配慮行動の拡大に向けた取組みを進める。

- 効果的な情報発信
- 環境教育・学習の推進
- 行動を支援する仕組みの充実

低炭素・省エネルギー

資源循環

全てのいのちが共生

健康で安心して暮らせる

魅力と活力ある快適な地域

2020年度目標（府民に分かりやすく、進捗状況が確認し易い）

■国の取組みと連動し、1990年度比で25%の温室効果ガス排出量を削減

- ・ 府域で保有される自動車のうちエコカーの割合を50%に増やす。
- ・ 府域の太陽光発電の導入によるCO₂削減量を2009年度比で30倍以上に増やす。

■資源の循環をさらに促進

- ・ 一般廃棄物 リサイクル率を倍増させる。
- ・ 産業廃棄物 最終処分量をさらに削減する。

■リサイクル社会を実現するための府民行動を拡大

- ・ リサイクル製品を購入している府民の割合を倍増させる。
- ・ 資源物を分別している府民の割合を概ね100%にする。

■生物多様性の府民認知度を70%以上に ■生物多様性の損失を止める行動を拡大

- ・ 活動する府民を30%増加する。
- ・ 保安林、鳥獣保護区等の地域指定を新たに約2000ha拡大する。

■大気環境をさらに改善

- ・ 二酸化窒素の日平均値0.06ppm以下を確実に達成すると共に、0.04ppm以上の地域を改善する。
- ・ 微小粒子状物質(PM2.5)の環境保全目標を達成する。
- ・ 光化学オキシダント濃度0.12ppm(注意報発令レベル)未満を目指す。

■人と水がふれあえ、水道水源となりうる水質を目指し、水環境をさらに改善

- ・ BOD(生物化学的酸素要求量)3mg/L以下(環境保全目標のB類型)を満たす河川の割合を8割にする。

■多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。

- ・ 底層DO(溶存酸素量)5mg/L(湾奥部は3mg/L)以上を達成する。
- ・ 藻場を造成(藻場面積を400haを目指す)する。

■環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年度より削減

●快適な生活環境が確保された「暮らしやすい」、「働きやすい」、「訪れたい」都市を目指す。

- みどり豊かな自然環境の保全・再生 みどりの風を感じるネットワークの形成 街の中に多様なみどりを創出 みどりの行動の促進
- ヒートアイランド現象の緩和
- 騒音・振動の防止
- 魅力ある景観の形成 歴史的・文化的環境の形成

施策の方向

●あらゆる要素に「低炭素」の観点を組み入れて、低炭素化に向けた効果的な取組みを促進

- 産業・業務、住宅・建築物、運輸・交通の低炭素化
- 再生可能エネルギー等の普及
- 森林整備によるCO₂吸収の促進

●生産・流通、消費、再生・処理、最終処分各段階における資源の循環に向けた取組みを促進

- 再生原料・再生可能資源の利用促進
- 廃棄物排出量の削減
- リサイクル率の向上
- 最終処分量の削減
- 廃棄物の適正処理の徹底

●生物多様性についての府民理解を促進し、生物の生息環境の保全と回復への行動を促進

- 生物多様性の重要性の理解促進
- 生物多様性に配慮した行動促進
- 府民と連携したモニタリング体制の構築
- 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
- エコロジカルネットワークの構築推進

●自動車排出ガス対策や工場等の固定発生源対策を推進

- 自動車から排出される窒素酸化物(NOx)と粒子状物質(PM)の削減対策の推進
- 微小粒子状物質(PM2.5)の現状把握と対策の検討・実施
- 揮発性有機化合物(VOC)の排出削減
- 建築物の解体工事に伴うアスベストの飛散防止対策の徹底

●流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

- 生活排水の100%適正処理を目指した生活排水処理対策の促進や総量規制等の工場・事業場排水対策の推進
- 健全な水循環の保全・再生
- 大阪湾の環境改善対策の推進

●環境リスクの高い化学物質の排出削減や、予防的取組みの推進、様々な主体の環境リスクについての理解促進

- 環境リスクの高い化学物質の排出削減
- 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
- 残留性有機汚染物質や汚染土壌等の適正管理・処理

◇施策推進に当たっての視点

- あらゆる分野への環境の視点の組み込み（都市構造、金融・産業など）
- 地域主権・広域連携の推進（広域連携・関西広域連合での取組み推進、市町村への権限移譲の推進など）

◇施策の効率的・効果的推進

- 複数年分の成果を評価するサイクルを追加
- 可能な限り得られた効果を数値化
- 評価資料の府民への公表及び意見募集

大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況

	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
大阪府	目標	26	対23年度比 3%削減	-	-	-	-	-
	実績	22	対15年度比 6.8%削減	627,337,117kWh	682,145ℓ	22,208,863m ³	6,688,452ℓ	-
大阪市	目標	24	基準年度 (H21年度) に比べ4.5%削減	-	-	-	-	-
	実績	22	対21年度実績 比 1.9%増 (466,035,959MJ)	404,150,378MJ	-	57,089,035MJ	4,730,185MJ	重油 66,361MJ
堺市	目標	22	H16年度比 5%削減 (57,500 ton- CO ₂)	-	-	-	-	-
	実績	22	62,574 ton-CO ₂	106,562,251 kWh	60,657 ℓ	11,133,065 m ³	525,776 ℓ	-
岸和田市	目標	-	見直し中	見直し中	見直し中	見直し中	見直し中	-
	実績	22	16,944t-CO ₂ (前年16,411t-CO ₂)	32,456,710kwh (前年31,756,446kwh)	160,370ℓ (前年132,718ℓ)	1,544,895m ³ (前年1,456,404m ³)	118,269ℓ (前年112,289ℓ)	-

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
-	-	-	H21.3 ISO14001認証 返上	「温暖化対策ふちようアクションプラン～大阪府地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」をH24年3月に策定	・実績は大阪府庁エコアクションプラン-地球温暖化対策大阪府庁実行計画-(平成17年9月策定)の対象となる事務事業による数値
-	2,962,813m ³	-	H21.4より独自システムに移行		
基準年度(H21年度)以下に抑制	基準年度(H21年度)以下に抑制	基準年度(H21年度)以上の紙リサイクル率	【オフィス系庁舎】 H11.12～H21.12 本庁舎、区役所等 ※平成23年11月30日に認証が満了したため、大阪市庁内環境管理計画(独自システム)へ移行 【環境局】 H13.3～H23.10 全ごみ焼却工場 【建設局】 H14.6～H17.6 全下水道事務所	大阪市環境基本計画(H23.3策定) 大阪市庁内環境管理計画(H23.3策定) 大阪市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(H23.3策定) 大阪市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H23.3策定) エコオフィス21(H23.3廃止)	【温室効果ガス排出削減目標】 大阪市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において大阪市役所全体で平成27年度までに平成2年度実績比25%削減を目標としている。この目標達成に向けて庁内環境管理計画で毎年目標を定め取組みを進めている。 【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンボール、カラー用紙、新聞紙、封筒類)・空き缶・空きびん・ペットボトル 【ローカルアジェンダ21】 「地球環境を守る身近な行動指針」(H7.5策定)
対21年度実績比 0.4%増 (14,263万枚)	対21年度実績比 2.5%増 (212,655m ³)	-			
-	-	-	【認証取得】 本庁舎 H14.2 5区役所 H16.2 美原区役所 H18.2	第2次堺市環境基本計画(H21.5策定) 堺市地域省エネルギービジョン(H19.3改定) 堺市地球温暖化対策実行計画-2期計画-(H20.3改訂) 堺市環境モデル都市行動計画(H21.4策定)	○堺市地球温暖化対策実行計画-2期計画-は、平成22年度末で計画期間が満了したため、新たな「堺市地球温暖化対策実行計画」を策定中 【庁内ごみの分別種類】 焼却(一般ごみ・禁忌シュレッダー・清掃工場直送) リサイクル(新聞紙・雑誌書籍・段ボール・その他紙類・シュレッダー古紙)
182.2 ton	2,117,332 m ³	-	【認証解除】 全庁舎 H19.2.19解除		
見直し中	見直し中	-	予定なし	岸和田市環境計画(H10.3策定)H20.3改定 岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策)H23.5改定	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙等・プラスチック・カン・ビン・ペットボトル
23,563,950枚 (前年19,072,102枚) (A4換算)	531,884m ³ (前年538,203m ³)	-			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
豊中市	目標	32	・温室効果ガス排出量 対12年度比30%削減				-	
	実績	22	・対12年度比14.4%減(37,921t-CO2)				-	
池田市	目標	24	対22年度比3%削減	-	-	-	-	
	実績	22	-	40,439,123kwh	121,120ℓ	1,411,073m3 (CNG16,220m ³ 含)	85,840ℓ	軽油 78,503ℓ A重油134,000ℓ LPG 8,671m ³
吹田市	目標	32	温室効果ガス排出量対17年度比25%以上削減	63,520千kWh	-	2,919千m ³	175KL	軽油60KL
	実績	22	温室効果ガス排出量対17年度比27.2%削減	73,722千kWh	43KL	3,963千m ³	210KL	軽油68KL
泉大津市	目標	25	対19年度比5%削減	対19年度比5.5%削減 (10,100,000kwh)	対19年度比6.0%削減 (50,760ℓ)	対19年度比3.0%削減 (870,000m ³)	対19年度比9.3%削減 (32,400ℓ)	軽油対19年度比9.3%削減 (10,000ℓ)
	実績	22	対19年度比0.9%削減	対19年度比2.9%削減 (10,384,539kwh)	対19年度比20.7%削減 (42,800ℓ)	対19年度比7.1%増加 (960,601m ³)	対19年度比4.1%削減 (34,274ℓ)	軽油対19年度比6.2%削減 (10,347ℓ)
高槻市	目標	24	温室効果ガス排出量対21年度比で、毎年1%ずつ削減	・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比で毎年1%ずつ削減 ・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比で毎年1%ずつ削減			-	
	実績	22	温室効果ガス排出量対17年度比11.9%削減 (23,866t-CO2)	対17年度比15.6%削減 (13,355t-CO2)	対17年度比6.9%削減 (10,501t-CO2)		-	

			環境マネジ メントシステム 認証取得状 況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	—	豊中市環境基本計画 (H11.3策定、H23.2第2次計画策 定) 第3次豊中市地球温暖化対策 実行計画 (H23.3策定) 豊中市地球温暖化防止地域計 画(H19.11策定) 豊中市みどりの基本計画(H11.5 策定) 第3次一般廃棄物処理基本計画 (H23.3改定) 第3次ごみ減量計画(H24.3策 定)	○ローカルアジェンダ21 「豊中アジェンダ21ー地球環 境を守る市民・事業者・行政 の行動計画」 (H11.3策定、H17.6改定、 H23.6第2次ローカルアジェ ンダ策定) 【庁内ごみの分別種類】 ビン・カン・ペットボトル・可燃 ごみ・不燃ごみ・紙
554.1t +4.9%(前年度比)	1,025,052m ³ +1.1%(前年度比)	—			
—	—	—	—	池田市新環境基本計画 (H23.3策定) 池田市地域省エネルギービ ジョン(H14.3策定) 池田市地域新エネルギービ ジョン(H20.2策定) 池田市一般廃棄物処理基本 計画(H22.3策定) 第3次池田市地球温暖化防 止実行計画(H24.4策定)	○ローカルアジェンダ21 「池田市環境基本計画」 【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ごみ、紙、ビ ン・カン、ペットボトル
19,844,418枚 (A4換算)	373,250m ³	—			
29,142千枚	—	—	取得済 * 本庁舎及び 出張所(H16.7) 更新サイト拡 大 認証解除 本庁舎及び3 出張所 H22.6.30	・吹田市環境基本計画(H10.8策 定) ・吹田市第2次環境基本計画 (H21.3策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン (改定版)策定(H16.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン (第3版)策定(H19.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン (第4版)策定(H22.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン (第5版)策定(H23.4策定) ・吹田市地域新エネルギー・省 エネルギービジョン(H22.2策定) ・吹田市地球温暖化対策新実行 計画(H23.3策定)	・左記の実績及び目標値は大阪 府条例及び吹田市役所エコオ フィスプラン第5版に基づく数値 (府外施設含む) 電気の排出係数は、毎年、電力 会社が公表する値を使用する。 エネルギー使用に伴うCO2排出 量から、ごみ焼却施設の売電量 に相当するCO2排出量を差し引 いて算定している。 ・ローカルアジェンダ21(H17.3策 定) ・【庁内のごみの分別種類】 ビン・缶・ペットボトル・紙ご み・その他
35,929千枚	1,645千m ³	—			
対19年度比 2%削減 (4,730,000枚)	19年度の水準を 維持 (217,000m ³)	—	予定なし	泉大津市環境基本計画 (H14.3策定) 泉大津市第2次環境基本計画 (H24.3策定) 地球温暖化対策の推進に 関する泉大津市実行計画 [第3期](H21.3策定) 泉大津市地球温暖化対策地域 推進計画(H24.10策定予定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ごみ・空き缶・空きビン・ 乾電池・古新聞・古雑誌・ダン ボール
対19年度比 6.5%削減 (4,518,125枚)	対19年度比 6.4%削減 (203,130m ³)	—			
単年度目標なし (※備考欄参照)	21年度実績以下	焼却ごみ量 対21年度比で 毎年1%ずつ削 減	取得済 * 本庁舎 (H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	・高槻市環境基本計画 (H24.3策定) ・たかつきエコオフィスプラン (H23.3策定) ・たかつき地球温暖化対策ア クションプラン (H23.3策定)	○ローカルアジェンダ21策定 (H16.3、最新版H23.7) 名称:「たかつきローカルアジェンダ21」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度ま でに紙購入量平成21年度比3%削 減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビ ン
対17年度比 9.7%増加 (72,910千枚)	対17年度比 8.6%削減 (675千m ³)	対17年度比 3.5%削減 (1,349t)			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
貝塚市	目標	25	対21年度比4%削減(7,784,591kg-co2)	対21年度比4%削減(16,143,129kwh)	対21年度比4%削減(73,083ℓ)	対21年度比4%削減(都市ガス642,535m ³ ・LPG14,290kg)	対21年度比4%削減(61,751ℓ)	対21年度比4%削減(軽油49,190ℓ・A重油104,160ℓ)
	実績	22	対21年度比1.1%増加(8,195,574kg-co2)	対21年度比1.7%増加(17,109,591kwh)	対21年度比7.8%増加(82,083ℓ)	対21年度比都市ガス11.2%増加(744,414m ³)・LPG12.0%増加(16,666m)	対21年度比6.4%増加(68,451ℓ)	対21年度比軽油16.4%削減(42,826ℓ)・A重油67.5%削減(35,300ℓ)
守口市	目標	22	対11年度比10.5%削減(目標年度22年度)	対12年度比5%削減	燃料使用量として、対12年度比5%削減			
	実績	22	対11年度比39.0%削減(22,792tCO ₂)	対12年度比16.4%削減(27,908,164kwh)	対12年度比65.6%削減(65.0kℓ)	都市ガス対12年度比24.3%削減(582,314m ³) LPG同26.1%削減(49,348kg)	対12年度比37.1%削減(41.8kℓ)	軽油: 対12年度比34.9%削減(57.6kℓ) 重油: 同90.7%削減(93.5kℓ)
枚方市	目標	24	対17年度比13.4%削減(23,836t → 20,642t)	対17年度比13.0%削減(53,619,018kwh → 46,648,546kwh)	対17年度比55.0%削減(461,551ℓ → 207,698ℓ)	対17年度比1.0%削減(1,242,281m ³ → 1,229,858m ³)	対17年度比17.5%削減(150,462ℓ → 124,131ℓ)	軽油対17年度比2.1%以内の増加にとどめる(246,704ℓ → 251,885ℓ)
	実績	22	対17年度比9.4%削減(21,589t)	対17年度比8.6%削減(48,989,472kwh)	対17年度比40.5%削減(274,772ℓ)	対17年度比5.4%削減(1,175,422m ³)	対17年度比13.2%削減(130,624ℓ)	軽油対17年度比7.6%増加(265,346ℓ)
茨木市	目標	24	対19年度比10%削減(75,319t)(目標値)	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油) CO ₂ 換算で対19年度比6%削減(16,644t-CO ₂)(目標値)				
	実績	22	対19年度比5.8%削減(78,821t)	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油) 対19年度比6.3%削減(16,583t-CO ₂)				
八尾市	目標	24	平成20年度比で平成27年度までに7%以上削減	-	-	-	-	-
	目標	23	-	前年度比3%削減	-	-	前年度比5%削減	-
	実績	22	対20年度比で2.1%増(24,104t-CO ₂)	前年度比2%減(11,449Mwh)	-	-	前年度比1%減(45.76kℓ)	-
泉佐野市	目標	24	平成20年度を基準年とし、CO ₂ の排出を年1%の削減目標	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	-
	実績	22	大阪府温暖化の防止等に関する条例の届出では、平成20年度の排出量に比べ、2.64%のCO ₂ を排出削減	19,707千kwh	160kl	(都市ガス)639千m ³ (LPガス)15t	101kl	-

			環境マネジ メントシステム 認証取得状 況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	予定なし	貝塚市地球温暖化対策実行計画(H19.2策定) 第2期貝塚市地球温暖化対策実行計画(H22.11策定) 貝塚市地域省エネルギービジョン 初期ビジョン(H20.2策定) 重点ビジョン(H21.2策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック類、乾電池、古新聞、ダンボール
—	—	—			
—	対12年度比5%削減	—	予定なし	守口市 地球温暖化対策実行計画(H14.6策定、H14～H22年度)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・廃プラスチック類・新聞紙・古紙類・ビン・カン・ペットボトル、紙コップ類
—	対12年度比38.5%削減(360,528㎡)	古紙類のリサイクルの徹底			
対21年度比1.5%削減(A4換算2,826万枚⇒2,783万枚)	対17年度比14.4%削減(398,660㎡⇒341,253㎡)	本庁・分館の可燃ゴミ排出量を対17年度比23.0%削減(27.5t⇒21.2t)	取得済(H13.10) 現在、市立幼稚園、市立小中学校、市民病院の医療部門を除く全組織において認証取得	第2次枚方市環境基本計画(H23.3策定) (枚方市環境基本計画(H13.2策定)が平成22年度に計画期間満了) 枚方市役所CO ₂ 削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～(H19.6策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・古紙類・ビン・カン・ペットボトルなど廃プラスチック類
対21年度比5.3%増加(2,976万枚)	対17年度比12.9%削減(347,213㎡)	本庁・分館の可燃ゴミ排出量を対17年度比22.6%削減(21.3t)			
対19年度比7%削減(印刷用紙、業者発注分含む)(77,232,780枚)(目標値) *A4換算	対19年度比8%削減(644,405㎡)(目標値)	普通ごみ排出量H19年度比9%削減(515.7t)(目標値)	平成22年10月12日認証登録更新(本庁舎(本館・南館))	茨木市環境基本計画(H16.3策定) エコオフィスプラン いばらき(H12.3策定) (H21.3改正) 茨木市地域エネルギービジョン(H23.2策定)	【庁内ごみの分別種類】 新聞紙・その他の紙類・空き缶・空きビン・ペットボトル・普通ごみ
対19年度比14.2%増加(94,802,776枚) *A4換算	対19年度比7.9%削減(644,923㎡)	対19年度比22.4%削減(439.8t)			
—	—	—	KES認証更新(平成24年3月1日付、本庁舎及び清掃庁舎)	環境マネジメントシステムによる環境改善計画 大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づく削減計画 八尾市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	※庁内ごみの分別種類 可燃ごみ、資源ごみ、複雑ごみ、埋立ごみ、新聞、雑誌、ダンボール、その他紙類 ※KES認証取得範囲(本庁舎及び清掃庁舎)だけでなく、全庁的に環境マネジメントシステムを用いて環境改善活動を行っている。 ※温室効果ガス排出量の算出には、市立病院、水道局を含む
— (平成21年度から実績値のみ把握するよう変更)	—	可燃ごみ排出量 前年度比0.7%削減			
前年度比6.7%増(12,022,376枚)	—	可燃ごみ排出量 前年度比3.4%減(96.8t)			
—	—	—	予定なし	泉佐野市地球温暖化対策実行計画(平成20年3月策定)	庁内ゴミの分別 ・可燃ゴミ・カン ・ビン、ペットボトル ・紙類
—	—	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
富田林市	目標	22	対16年度比 0.1%削減(9,261,483kg-CO2) 平成23年度に「富田林市地球温暖化対策実行計画(第3次)」策定予定					
	実績	22	9,472,087kg-CO2	6,297,943kg-CO2	409,712kg-CO2	1,994,428kg-CO2	10,073kg-CO2	759,931kg-CO2
寝屋川市	目標	26	対21年度比 6%削減 (23,305t)	対21年度比 5%削減 (施設稼働除く) (13,164,617kwh)	燃料の使用量(自動車含む)を 概ね対21年度比5%削減 (都市ガス:815,599m ³) (LPG:15,435kg) (68,191ℓ)			廃プラスチックの 焼却量を、対21 年度比12%削減 (3,832t)
	実績	22	対21年度比 0.9%削減 (24,576t)	対21年度比 5.7%増加 (14,645,809kwh)	対21年度比 26.5%削減 (192,836ℓ)	対21年度比 7.5%増加 (都市ガス: 922,897m ³) 対21年度比 3.2%増加 (LPG:16,761kg)	対21年度比 3.0%増加 (73,961ℓ)	対21年度比 4.1%削減 (4,175t)
河内長野市	目標	25	平成17年度を基準と して平成25年度まで に37パーセント以上 削減 (ただし、森林吸収量 含む。)	削減に努める。(平成 23年度は平成22年 度比15パーセント以 上削減)	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	—
	実績	22	—	19,275,877.5kwh	241,776.4ℓ	LPG:30,254.7kg 都市ガス: 382,729.2m ³	67,881.9ℓ	—
松原市	目標	18	—	対10年度比 概ね5%削減 実績 13.1%削減 14,064,167kwh	対10年度比 概ね10%削減 実績 23.4%削減 10,495ℓ	対10年度比 概ね10%削減 実績 4.9%増加 1,032,104m ³	対10年度比 概ね10%削減 実績 4.4%削減 49,053ℓ	—
	実績	22	—	11,149,086kwh	10,407ℓ	841,624m ³	59,627ℓ	—
大東市	目標	24	—	対17年度比 6%削減 (13,248,273.3kwh)	対17年度比 6%削減 (3,169.6ℓ)	対17年度比 6%削減 (511,946m ³)	対17年度比 6%削減 (54,662.3ℓ)	—
	実績	22	—	対17年度比 2.28%削減 (13,772,288.0kwh)	対17年度比 46.64%削減 (1,799.2ℓ)	対17年度比 1.41%増加 (552,291.9m ³)	対17年度比 3.65%削減 (56,028.4ℓ)	—
和泉市	目標	24	—	本庁舎:前年比10% 削減 上下水道部庁舎: 前年比6%削減	—	18年度数値維持 (114,035m ³)	対11年度比 38%削減 (49,296ℓ)	—
	実績	22	—	対11年度比 7.8%増加 (1,471,379kwh)	—	対13年度比 14.1%増加 (116,960m ³)	対11年度比 37.3%削減 (49,887ℓ)	—
箕面市	目標	22	—	対11年度比 15%削減 (24,365,000kwh)	—	対11年度比 10%削減 (1,384,791m ³)	対11年度比 10%削減 (76,557ℓ)	—
	実績	22	—	対11年度比 2.6%増加 (29,409,539kwh)	—	対11年度比 9.3%増加 (1,682,394m ³)	対11年度比 7.8%削減 (78,402ℓ)	—

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	平成22年3月 31日付 エコアクション 21認証・登録 取得(本庁舎・ 別館)	富田林市地球温暖化対策実 行計画(第2次)(H18.3策定)	* 目標・実績は富田林市地 球温暖化対策実行計画(第2 次)より
—	—	—		富田林市地球温暖化対策実 行計画(第3次)(平成23年 度策定予定)	【庁内ごみの分別種類】 もえるごみ、粗大ごみ、資源 カン・ビン、資源ペットボトル、 資源古紙古布、資源プラス チック製容器
対21年度比 2%削減 (85,866,204枚)	節水に心がける (数値目標なし)	事務用品等の再 生品購入推進	市役所本庁舎 H21年度に廃 止	寝屋川市環境基本計画 (H14.2策定) 寝屋川市役所 温暖化対策実行計画 (H13.2策定) 第二期寝屋川市役所温暖化 対策実行計画(H17.4策定) 寝屋川市グリーン調達方針 (H22.4改定) 寝屋川市環境基本計画 (H23.3改訂) 第三期寝屋川市役所温暖化 対策実行計画(H22.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙、カン、ビン、ペットボ トル、一般ごみ、廃プラ
対21年度比 3.4%削減 (84,659,861枚)	—	—		—	—
削減に努める	削減に努める	—	予定なし	河内長野市環境基本計画 (H13.3策定,H23.3改訂) 河内長野市環境率先行動実 行計画 (H13.10策定,H21.12改訂) * 温暖化防止実行計画を含 む	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コ ピー用紙・カン・ビン・ペット ボトル・一般ごみ ペットボ トルのキャップ
—	—	—		—	—
対10年度比 概ね10%削減 実績 17.0%増加 29,961,112枚	対10年度比 概ね10%削減 実績 27.4%削減 351,230m ³	対10年度比 概ね10%をリサ イクル 実績 50.2%減少 53.2t	予定なし	地球温暖化対策の推進 に関する松原市実行計画 (H14.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 用紙類
26,446,446枚 ※A4換算	267,093m ³	43.5t		—	—
対17年度比 6%削減 (7,648,695.4枚)	対17年度比 6%削減 (313,051m ³)	—	予定なし	大東市環境基本計画 (H18.7策定) 大東市地球温暖化対策 実行計画(H14.1策定) 第2期大東市地球温暖化対 策実行計画(H19.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙(4種類)、カン・ビン、 ペットボトル、紙パック
対17年度比 25.88%増加 (10,242,500枚)	対17年度比 5.92%削減 (313,303m ³)	—		—	—
対11年度比 53%削減 (3,458,613枚) * A4換算	対11年度比 9%削減 (11,999m ³)	—	本庁舎 (H13.11)	第二次和泉市環境基本計画 (H23.3策定)	* 本庁舎数値 【庁内ごみの分別種類】 ダンボール・新聞紙・一般紙・ 雑誌類・ペットボトル・カン・ビ ン・乾電池
対11年度比 51.2%削減 (3,588,721枚) * A4換算	対11年度比 2.6%増加 (13,532m ³)	—		—	—
対11年度比 5%削減 (24,869,971枚)	対11年度比 5%削減 (468,890m ³)	—	予定なし	箕面市 地球環境保全行動計画 (H12.3策定)	○ローカルアジェンダ21 「箕面市地球環境保全行動計画」 (H12.3策定) ○庁内ごみの分別種類 燃えるごみ、燃えないごみ、缶、ビ ン、ペットボトル、紙類(再生紙等) ○箕面市快適環境づくり計画(H6.3 策定)
対11年度比 24.4%増加 (32,567,098枚)	対11年度比 19.0%削減 (399,791m ³)	—		箕面市 快適環境づくり計画(ステップ2) (H13.3策定)	—

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
柏原市	目標	23	対12年度比 5%削減 (6,657t-CO2)	対12年度比 5%削減 (14,393,185kw)	対12年度 (32,210L) 10%削減	対12年度 10%削減 都市ガス (560,588m3) プロパン (22,434kg)	—	自動車燃料の総 使用量 対12年度比 5%削減 ガソリン (38,913L) 軽油 (10,487L) 重油 (4,340L)
	実績	21	対12年度比 16.9%増 (7,777t-CO2)	対12年度比 11.7%増 (16,084,005kw)	対12年度比 14.5%増加 (36,884L)	対12年度比 都市ガス 6.5%増 (596,986m3) プロパン 7.5%増 (24,113kg)	—	対12年度比 ガソリン 10.2%増 (42,896L) 軽油 281%増 (39,992L) 重油 5.5%増 (4,100L)
羽曳野市	目標	22	対13年度比 11%削減 (8,118,629kg-Co2)	対13年度比 11%削減 (15,505,036kwh)	対13年度比 11%削減 (84,562ℓ)	対13年度比 11%削減 (854,020m ³)	対13年度比 11%削減 (68,643ℓ)	—
	実績	22	8,261,775kg- Co2(9.4%減)	16,275,937kwh (6.6%減)	89,476ℓ (5.4%減)	823,045m ³ (14.2%減)	57,619ℓ (25.3%減)	—
門真市	目標	23	25,760t-co2	対17年度比 5%削減 (20,970千kwh)	対17年度比 5%削減 (48,500ℓ)	対17年度比 5%削減 (868,300m ³)	対17年度比 5%削減 (31,730ℓ)	* 軽油 対17年度比5% 削減(64,500ℓ)
	実績	21	23,375t-CO2	23,487千kwh	35,000ℓ	765,000m ³	24,000ℓ	18,000ℓ
摂津市	目標	24	対22年度比 2%削減 21,924t-CO2	対22年度比 2%削減 21,041,711 kwh	対22年度比 2%削減 118,366ℓ	対22年度比 2%削減 330,644m ³	対22年度比 2%削減 86,781.ℓ	-
	実績	22	対17年度比 9.3%削減 22,371t-CO2	対17年度比 1.1%増 21,471,134 kwh	対17年度比 42.6%削減 120,782ℓ	対17年度比 3.9%削減 337,392m ³	対17年度比 19.6%増 88,552ℓ	-
高石市	目標	17	3,391トン/CO2	対11年度 概ね5%削減 (5,965,384.4kwh)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.4ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (469,691.7m ³)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.6ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (軽油:3,775.7ℓ) (A重油:4,770.9ℓ)
	実績	22	3,154トン/CO2	5,858,556.0kwh	7357.8ℓ	385,070.0m ³	23227.4ℓ	軽油:5671.1ℓ A重油15661.0ℓ
藤井寺市	目標	22	対10年度比 5%削減 (5,175t-CO2)	対10年度比 5%削減 (9,894,083wh)	極力削減	対10年度比 5%削減 (399,608m ³)	公用車使用量対 10年度比10%削 減(31,003ℓ) その他使用量 極力削減	軽油: 公用車使 用量対10年度比 10%削減(79,130 ℓ)その他使用量 極力削減 A重油: 対10年度 比4%削減(20,438 ℓ)
	実績	21	4,975t/CO2	10,446,539kwh	32,141ℓ	316,983m ³	19,917ℓ	軽油:239,519 A重油:14,728ℓ

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対12年度比 5%削減 ※A4換算枚数	対12年度比 (250,569m ³) 5%削減	—	自己宣言 (H22.3.25)	柏原市 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	※目標を市の全ての事務事業活動での削減に取り組む (当初は新規施設は除いていた) ※ISO14001自己宣言による運用
-	対12年度比 17.9%削減 (205,764m ³)	-			
-	-	-	予定なし	羽曳野市地球温暖化対策 推進実行計画 (H15.3策定)	
-	-	-			
-	-	-	予定なし	第二期門真市エコオフィス計画 (H19.4策定) ※期間は平成19年度～平成23 年度までの5年間	【庁内ごみの分別種類】 普通ごみ、プラスチック製容器包装、びん・缶類、自転車類、小型・ガラス類、ペットボトル、古紙・古布
-	-	-			
-	対22年度比 2%削減 234,575m ³	-	環境センター に於いて環境 エコアクション 21(EA21)を 平成21年3月 末認証取得	・摂津エコオフィス推進プログラムⅢ (H.24年3月策定) ・摂津市地球温暖化防止地域計画 (H23年12月策定)	※対象：全庁舎(外部職場を含む)電気、ガス、水道等の使用量 【庁内ごみの分別】 OA用紙、新聞、雑誌、缶、びん、 ペットボトル
-	対17年度比 2.2%削減 241,598m ³	-			
対11年度 概ね5%削減 (10,264,180枚)	対11年度 概ね5%削減 (190,550.0m ³)	-	予定なし	高石市 地球温暖化対策実行計画 (H13. 11策定)	【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンボール、新聞紙、本、雑誌)・空き缶・空きびん・ペットボトル・白色トレイ
6,112,325枚	145,402m ³	-			
対10年度比 5%削減 (19,510,557枚)	対10年度比 5%削減 (223.446m ³)	—	予定なし	藤井寺市 地球温暖化対策推進実行計画 (H13.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 普通ゴミ、粗大ゴミ、カン、ビン、ペットボトル、紙、新聞、ダンボール、乾電池
8,151,413枚	161,440m ³	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
東大阪市	目標	23	—	対17年度比 -6% (50,450,295kwh)	対17年度比 -6% (305,149ℓ)	対17年度比 -6% (都市ガス: 4,542,913m ³) (LPG:5,950kg)	対17年度比 -6% (260,228ℓ)	対17年度比 -6% (軽油:236,262ℓ) (A重油:16,800ℓ)
	実績	22	—	対17年度比 +2.5% (51,704,474kwh)	対17年度比 +10.8% (337,954ℓ)	対17年度比 都市ガス:-14.7% (3,873,501m ³) LPG:-24.5% (4,493kg)	対17年度比 -15.5% (220,009ℓ)	対17年度比 軽油:+9.1% (257,778ℓ) A重油:+36.3% (22,890ℓ)
泉南市	目標	24	対前年比-6%	9,371,979kwh	193,190ℓ	139,424m ³		
	実績	22	-6%	9,970,190kwh	205,522ℓ	148,324m ³		
四條畷市	目標	22	対16年度比温室 効果ガス排出量 5%削減 (3,667t-CO ₂)	対16年度比概ね 5%削減 (7,908,890Kwh)	対16年度比概ね 5%削減 (990ℓ)	対16年度比概ね 5%削減 都市ガス:237,808m ³ LPガス:14,082kg	対16年度比概ね 7%削減 (33,924ℓ)	軽油使用量対16 年度比概ね7%削 減 (10,857ℓ)
	実績	22	3,697t-CO ₂ 4.2%減	8,093,824Kwh 2.8%減	617ℓ 40.8%減	都市ガス:216,530m ³ 13.5%減 LPガス:11,846kg 20.1%減	28,276ℓ 22.5%減	15,701ℓ 34.5%増
交野市	目標	22	対16年度比 温室効果ガス 排出量6%削減	対16年度比 6%削減	対16年度比 6%削減	対16年度比 6%削減	対16年度比 6%削減	対16年度比 軽油 6%削減
	実績	22	対16年度比 18.6%削減 (6,185t-CO ₂)	対16年度比 10.3%削減 (14,987,234kwh)	対16年度比 8.6%削減 (180,289ℓ)	対16年度比 都市ガス:27.9%削減 (122,898m ³) LPガス:24.1%削減 (32,000kg)	対16年度比 4.9%削減 (58,4800ℓ)	対16年度比 軽油:2.6%削減 (69,851ℓ)
大阪狭山市	目標	26	対21年度比温室 効果ガス排出量 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	軽油、A重油、CNG 対21年度比 5%削減
	実績	22	(基準年比13.1%減) 3,959t-CO ₂	(基準年比1.3%増) 10,210,785kWh	(基準年比16%減) 56,532ℓ	(基準年比0.4%減) 都市ガス:254,249m ³ (基準年比0.3%減) LPG:4,679kg	(基準年比0.7%増) 35,314ℓ	(基準年比0.9%増) 軽油:18,517ℓ (基準年比23.8%増) A重油:31,250ℓ (基準年比33.7%減) CNG:2,074m ³
阪南市	目標	27	対22年度比温室 効果ガス排出量 70t-CO ₂ 削減	—	—	—	—	—
	実績	22	3,100t-CO ₂	7,877,114kwh	161,854ℓ	プロパン:13,120kg 都市ガス:540m ³	35,388ℓ	軽油:48,468ℓ A重油:276ℓ
島本町	目標	23	対12年度比 温室効果ガス 排出量6%削減	—	—	—	—	—
	実績	22	7.0%減 (9,818,598kg- CO ₂)	10,564,929kWh	0ℓ	都市ガス72,805m ³ LPガス7,790kg	16,774ℓ	—
豊能町	目標	28	未定	未定	未定	未定	未定	—
	実績	22	3,209t-CO ₂	4,841,558kwh	15,472ℓ	LPG:15,363m ³ 都市ガス:94,948m ³	42,504ℓ	—

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—		東大阪市 地球温暖化対策実行計画 (H19.7策定)	【庁内ごみの分別種類】 PPC用紙、機密文書、新聞・ 雑誌、ダンボール、かん・び ん、ペットボトル、その他プラ スチック製容器包装、もえる ごみ、雑紙
—	—	—			
1,838,242枚	198,910m ³		予定なし		
1,955,577枚	211,607m ³				
※対16年度比概 ね5%削減 (12,573,075枚)	対16年度比概ね 5%削減 (134,767m ³)	可燃ごみ 対16年度比概ね 5%削減 (124,144kg)	H18.4取得 ※H21.4より 独自のシステ ム運用	第2次四條畷市地球温暖化 対策 実行計画(H23.4策定) 四條畷市環境基本計画 (H19.6策定)	※用紙使用量には、コピー用 紙のほか、定期刊行物の発 行に伴う用紙使用量を含む ※ローカルアジェンダ21は策 定予定は無し
18,755,062枚 41.7%増	118,327m ³ 16.6%減	95,001kg 27.3%減			
削減する	対16年度比 5%削減	分別及びリサイ クルの向上を図 り、廃棄物の減 量に努める	平成19年6月 よりLAS-Eに 沿ったEMSを 導入し、運用 している	第2期交野市 エコオフィス率先行動計画 (H17.3策定) ※H23年度よりエコオフィ スの目標数値はLAS-Eの数値 目標を準用する	H22年度10月より環境基本計 画を策定中
—	対16年度比 30.2%削減 (181,567m ³)	—			
対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	公共工事における リサイクル資材使 用率70%以上	EA21認証取得 (本庁舎・消防庁 舎)H21.3 (保健センター) H23.3 (コミュニティセ ンター、老人福祉セ ンター、心身障害 者福祉センター及 び母子福祉セン ター)H24.3	地球温暖化対策実行計画 「エコプランおおさかさやま」 (H13.3策定) 大阪狭山市地球温暖化対策 実行計画(事務事業編) (H22.12策定)	コピー用紙、水道使用量の取 組結果計測及び評価は、 EA21認証取得施設のうち、 本庁舎、消防庁舎、保健セン ターのみ集計。
(基準年比1.2%減) 3,094,250枚	(基準年比2.2%減) 7,384m ³	98.7%			
—	—	—	予定なし	第3次 阪南市地球温暖化対策実行 計画2011(事務事業編) (H23.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、カン、ビン、ペッ トボトル、プラスチック類、新 聞、ダンボール、電池、粗大 ごみ
5,304,760枚	83,623m ³	—			
—	—	—	* 本庁舎(H16.6) 取得済 * 消防本部庁舎、 上下水道庁舎、ふ れあいセンター、 清掃工場(H20.6) 取得済	第三期 島本町地球温暖化対策実行計画 (H24.3策定)	* 目標は第三期島本町地球温暖化 対策実行計画より 【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ゴミ、ビン、カン、ペッ トボトル、紙、ダンボール
—	—	—			
—	—	—	予定なし	第3次豊能町 地球温暖化対策実行計画 (H24.速やかに策定予定)	
—	—	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
能勢町	目標							
	実績							
忠岡町	目標	24	対18年度 2%削減 (9,346t-CO ₂)	対18年度 1%削減 (6,370,886kwh)	対18年度 1%削減 (24,322ℓ)	対18年度 1%削減 (LPG:8,233L) (都市ガス:194,282m ³)	対18年度 8%削減 (13,455ℓ)	対18年度 1%削減 (軽油:2,554ℓ) (A重油:17,758ℓ)
	実績	20	対18年度比 26%削減 (6,932t-CO ₂)	対18年度比 2%削減 (6,247,157kwh)	対18年度比 56%削減 (10,775ℓ)	対18年度比 LPG:0%削減 (8,259kg) 都市ガス:84%削減 (30,381m ³)	対18年度比 12%削減 (11,778ℓ)	対18年度比 軽油:23%削減 (1,955ℓ) A重油:16%削減 (14,916ℓ)
熊取町	目標	23	対17年度比 4.2%削減 (7,502,127kg-CO ₂)	対17年度比 4.5%削減 (10,620,812kwh)	【灯油・ガス・A重油】 対17年度比 3.2%削減 (20,241,107MJ)		対17年度比 4.3%削減 (33,583ℓ)	【軽油】 対17年度比 4.3%削減 (16,069ℓ)
	実績	22	対17年度比 8.7%削減 (7,147,947kg-CO ₂)	対17年度比 7.6%削減 (10,275,742kwh)	対17年度比 10.5%削減 (18,720,705MJ)		対17年度比 1.5%増加 (35,633ℓ)	対17年度比 61.8%削減 (6,401ℓ)
田尻町	目標	18	対12年度比 6%削減 (1,413t-CO ₂)	対12年度比 6%削減 (2,683,449kwh)	対12年度比 6%削減 (13,677ℓ)	対12年度比 6%削減 (プロパン:457kg) (都市ガス :160,949m ³)	対12年度比 6%削減 (12,699ℓ)	対12年度比 6%削減 (軽油:5,636ℓ) (A重油:5,170ℓ)
	実績	12	1,503t-CO ₂	2,854,733kwh	14,550ℓ	プロパン:486kg 都市ガス: 171,222m ³	13,510ℓ	軽油:5,996ℓ A重油:5,500ℓ
岬町	目標							
	実績							
太子町	目標							
	実績	22		598,000kwh			9,400ℓ	軽油:2,360ℓ 混合油:24ℓ
河南町	目標	22	対17年度比 5%削減 (3,071,602kg-CO ₂)					
	実績	22	対17年度比 5.57%削減 (3,057,076kg-CO ₂)	4,578,290KWh	162,958ℓ	LPG7,378kg+ 天然ガス695Nm ³	17,988ℓ	軽油17,556ℓ
千早赤阪村	目標							
	実績	17		227,029kwh	1,112ℓ	1.9m ³	4,130ℓ	1,833ℓ(軽油)

			環境マネジ メントシステム 認証取得状 況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
			予定なし	第2次能勢町環境基本計画 (H24.3策定)	第2次能勢町廃棄物(ごみ) 減量計画策定(H24.3策定)
—	—	—	予定なし	第2次忠岡町 地球温暖化対策実行計画 (平成19年度策定)	基準年度 (平成18年度) 実行年度 (平成20年4月～平成25年3 月)
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹 底し、排出抑制・ 再資源化に努め る	予定なし	第2期熊取町 地球温暖化対策実行計画 (H19年3月策定)	■庁内ゴミの分別■ ①可燃ごみ ②びん類 ③紙 類 ④衣類 ⑤かん類 ⑥ ペットボトル ⑦プラスチック製容器 包装 ⑧粗大・不燃ごみ ※第3期熊取町地球温暖化 対策実行計画(H24.3策定) 基準年度:H22年度 実行年度:H24年度～H28年 度
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹 底し、排出抑制・ 再資源化に努め る	予定なし		
対12年度比 6%削減 (1,799,630枚)	水の適正利用 の推進	公共工事におけ る環境配慮の促 進	予定なし	田尻町 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	【町内ごみの分別種類】 3種12品目
1,914,500枚	—	—			
			予定なし	岬町 地球温暖化防止対策 実行計画 (H15.3策定) 分別:可燃ごみ、資源ごみ (紙類・古着類、ペットボト ル、プラごみ、空缶・空瓶)、 不燃ごみ	
1,036,000枚	2,200m ³		予定なし		本庁舎分のみ 庁舎内の分別 ①燃えるごみ、②古紙
11,098kg	69,097m ³		EA21認証 済(H20.5.2)	平成18年度末に河南町地 球温暖化対策実行計画を策 定	
810,000枚	1,230m ³		予定なし		本庁舎分のみ

豊かな環境づくり大阪府民会議規約

(名称)

第1条 この会議は、豊かな環境づくり大阪府民会議(以下「府民会議」という。)と称する。

(目的)

第2条 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する活動を積極的に推進することを目的とする。

(事業)

第3条 府民会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)大阪府環境基本条例第7条に規定する豊かな環境の保全と創造に資する啓発活動等の事業を企画し推進すること。
- (2)大阪府環境基本条例第20条に規定する地球環境保全に資する行動指針を策定し、地球環境保全に関する実践行動を企画し推進すること。

(構成)

第4条 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者をもって構成する。

- 2 府民会議に入会しようとするもの(学識経験者を除く。)は、府民会議総会の承認を得なければならない。
- 3 学識経験者は、事務局長が委嘱する。
- 4 学識経験者の任期は2年とし、再任を妨げない。

(議長)

第5条 府民会議に議長を置き、府民会議を構成する学識経験者の委員の中から府民会議総会において選出する。

- 2 議長は、府民会議を代表する。
- 3 議長は、府民会議総会を招集し、これを運営する。

(副議長)

第6条 府民会議に副議長を置き、企画委員長をもって充てる。

- 2 副議長は、議長を補佐し、議長が不在のときはその職務を代理する。

(総会)

第7条 府民会議総会は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体において選任された者及び学識経験者を委員として組織する。

- 2 総会は、この規約に定める事項のほか、府民会議の運営に関する重要な事項を議決する。

(企画委員会)

第8条 府民会議の事業の企画立案等を行うため、府民会議に企画委員会を置く。

- 2 企画委員会の委員長及び委員は、議長が指名する。

(事務局)

第9条 府民会議の事務局を大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課内に置き、大阪府環境政策監を事務局長とする。

(雑則)

第10条 この規約に定めるもののほか、府民会議に関し必要な事項は、議長が定める。

附 則

この規約は、平成6年11月10日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年1月20日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成12年1月31日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年6月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

豊かな環境づくり大阪府民会議 委員名簿

平成24年6月末現在

★印は企画委員会委員

(敬称略)

【学識経験者】

(7名)

議長	(株)都市生活研究所代表取締役	篠崎由紀子
副議長 (企画委員長)	大阪産業大学大学院工学研究科教授	尾崎 博明★
	大阪大学大学院工学研究科教授	澤木 昌典★
	大阪府立大学大学院理学系研究科教授	谷田 一三★
	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授	花田真理子★
	大阪学院大学国際学部教授	三輪 信哉★
	大阪教育大学教育学部准教授	石川 聡子★

【府民団体】

(13名)

(社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長	金谷美津子
(一財)大阪府こども会育成連合会	常務理事	小川 佳映
大阪府生活協同組合連合会	事務局長	小山 正人★
大阪府青年団協議会	監事	谷村 彰紀
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長	新家 庸子★
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員長	小角 節
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会・環境担当	横田 聡★
		(7/1～佐藤 剛司)
なにわの消費者団体連絡会	事務局長	岡本 孝子★
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長	上村 威
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長	福田 雅之
日本野鳥の会大阪支部	支部長	橋本 正弘★
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長	田中 宏和
ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区	環境保全委員長	橋本 茂春

【事業者団体】

(9名)

(公社)関西経済連合会	理事	藤原 幸則★
(一社)関西経済同友会	事務局次長兼企画調査部長	松尾 康弘
大阪商工会議所	経済産業部長	中川 正隆
(公社)大阪府工業協会	専務理事	中村 尚司
大阪府中小企業団体中央会	事務局長	山野 義雄★
近畿百貨店協会	事務局長	引原 清晴
日本チェーンストア協会関西支部	事務局長	南野 和人★
大阪府小売市場総連合会	会長	森本 純二
大阪府商店街連合会	事務局長	満園 賢司

【関連団体等】

(6名)

地球環境関西フォーラム	事務総長	加藤 久佳★
(公財)大阪みどりのトラスト協会	常務理事兼事務局長	平田 通文
大阪府地球温暖化防止活動推進センター	参事	高見 勝重★
大阪府リサイクル社会推進会議	代表幹事・循環型社会推進室資源循環課長	磯田 浩★
大阪自動車環境対策推進会議	環境管理室交通環境課長	田邊 寛治
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局・建築指導室建築企画課長	寺本 武司

【行政】

(5名)

事務局長	大阪府	環境政策監	大江 桂子
	大阪市	環境局環境施策部長	高野 修一
	堺市	環境局環境保全部長	池田 浩一
	泉南市(市長会会長市)	市民生活環境部長	知久 孝
	能勢町(町村長会会長町)	環境創造部長	森村 保

豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先（平成24年6月末現在）

【府民団体 13】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長 金谷美津子	〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁390-1 泉北府民センタービル3階	TEL 072-289-5146 FAX 072-289-5147
(一財)大阪府子ども会育成連合会	常務理事 小川 佳映	〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-7-3 りそな・アルテ桜川ビル2階	TEL 06-6561-0051 FAX 06-6561-0053
大阪府生活協同組合連合会	事務局長 小山 正人	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
大阪府青年団協議会	監事 谷村 彰紀	—	—
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長 新家 庸子	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル 4階	TEL 06-6648-5757 FAX 06-6648-5858
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員長 小角 節	〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リガロイビル403号室	TEL 06-6448-1121 (内) 3880
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会 環境担当 ~6/30 横田 聡 7/1~ 佐藤 剛司	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階	TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
なにわの消費者団体連絡会	事務局長 岡本 孝子	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長 上村 威	〒559-0034 大阪市住之江区 南港北1-13-65 南港コスモプラザビル4階	TEL:06-6613-0053 FAX:06-6613-0063
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長 福田 雅之	〒543-0052 大阪市天王寺区大道5-4-6 大阪スカウト会館	TEL 06-6770-0043 FAX 06-6770-0044
日本野鳥の会大阪支部	支部長 橋本 正弘	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階	TEL 06-6766-0055 FAX 06-6766-0056
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長 田中 宏和	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7 大阪赤十字会館5階	TEL 06-6949-1105 FAX 06-6944-0055
ライオンズクラブ国際協会335-B地区	環境保全委員長 橋本 茂春	〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 レイト本町ビル2階	TEL 06-6222-7331 FAX 06-6222-7336

【事業者団体 9】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(公社)関西経済連合会	理事 藤原 幸則	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階	TEL 06-6441-0102 FAX 06-6441-0443
(一社)関西経済同友会	事務局次長 兼企画調査部長 松尾 康弘	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階	TEL 06-6441-1031 FAX 06-6441-1030
大阪商工会議所	経済産業部長 中川 正隆	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8	TEL 06-6994-6300 FAX 06-6944-6249
(公社)大阪府工業協会	専務理事 中村 尚司	〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-5 本町セントラルビル6階	TEL 06-6251-1138 FAX 06-6245-9926
大阪府中小企業団体中央会	事務局長 山野 義雄	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4370 FAX 06-6947-4374
近畿百貨店協会	事務局長 引原 清晴	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3丁目5-25 高島屋東別館5階	TEL 06-6630-7735 FAX 06-6630-7736
日本チェーンストア協会 関西支部	事務局長 南野 和人	〒580-0016 松原市上田3丁目8番28号 (株)近商ストア本部内	TEL 072-339-7015 FAX 072-339-7016
大阪府小売市場総連合会	会長 森本 純二	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4335 FAX 06-6947-4338
大阪府商店街連合会	事務局長 満園 賢司	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4334 FAX 06-6947-4338

【関連団体等 6】

団体名	委員名	所在地	連絡先
地球環境関西フォーラム	事務総長 加藤 久佳	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23階	TEL 06-6444-0550 FAX 06-6444-0611
(公財)大阪みどりのトラスト 協会	常務理事 兼事務局長 平田 通文	〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル4階	TEL 06-6263-5480 FAX 06-6263-5433
大阪府地球温暖化防止活動推進 センター	参事 高見 勝重	〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 (財)大阪府みどり公社内	TEL 06-6266-1271 FAX 06-6266-8665
大阪府リサイクル社会推進会議	代表幹事: 資源循環課長 磯田 浩	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎21階 資源循環課内	TEL 06-6210-9566 FAX 06-6210-9561
大阪府自動車環境対策推進会議	交通環境課長 田邊 寛治	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎21階 交通環境課内	TEL 06-6210-9586 FAX 06-6210-9575
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局: 建築企画課長 寺本 武司	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎27階 建築企画課内	TEL 06-6210-9718 FAX 06-6210-9714

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過

平成 6年11月10日	豊かな環境づくり大阪府民会議 設立総会 ・ 府民会議の規約の制定、議長の選出等 ・ 環境基本条例第20条に規定する「地球環境保全行動指針」の策定に取り組むことを決定
平成 7年 2月 3日	第2回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「地球環境保全行動指針（素案）」の検討
平成 7年 5月23日	第3回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「地球環境保全行動指針」の最終案について ・ 府民会議の行動計画の策定に取り組むことを決定
平成 7年 6月 5日	“地球環境を守ろう”府民の集い ・ 「地球環境保全行動指針」の策定
平成 7年11月 6日	第4回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画（仮称）」骨子について検討
平成 8年 3月 1日	府民会議情報誌“かんきょう夢ひろば”創刊
平成 8年 6月 5日	第5回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定
平成 8年12月17日	平成8年度大阪府ローカルアジェンダ21推進活動奨励事業の実施
平成 9年 3月28日	第6回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「おおさか環境賞」実施要領を決定 ・ インターネットによる「かんきょう交流ルーム」の開設について決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」構成案を決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催を決定
平成 9年6月5日	「かんきょう交流ルーム」開設
平成 9年 6月24日	第7回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定
平成 9年 7月24日	豊かな環境づくり大阪府民の集い ・ 「おおさか環境賞」受賞者表彰式 ・ かんきょう講演会
平成10年 1月20日	第8回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり府民シンポジウム（仮称）」の開催の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定 ・ 府民会議の入会規定の決定と国際ロータリー第2660地区の入会の決定
平成10年 5月 7日	第9回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成10年 6月 5日	豊かな環境づくり大阪府民の集い 第1部・「おおさか環境賞」受賞者表彰式 ・ 環境にやさしい暮らしのアドバイス ・ かんきょう講演会 第2部・炸裂！和太鼓 ・ 爆笑！えころじ～寄席

平成11年 1月19日	<p>第10回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催の決定 ・ 「グリーン購入啓発キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定
平成11年 6月 7日	<p>第11回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成11年 6月24日	<p>豊かな環境づくり大阪府民の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ グリーンコンシューマー入門講座 ～買物からライフスタイルを変える～ ・ 環境にやさしい商品の展示会
平成11年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成12年 1月31日	<p>第12回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「グリーンコンシューマーガイドブック（仮称）作成事業」の実施の決定
平成12年 6月 8日	<p>第13回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ ライオンズクラブ国際協会 335 - B 地区の入会の決定
平成12年 6月24日	<p>グリーン購入が社会を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「食から環境を考えるーリサイクル料理ー」 ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ シンポジウム「グリーン購入が社会を変える」
平成12年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成13年 1月30日	<p>第14回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定
平成13年 5月29日	<p>第15回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成13年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成13年 6月 6日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「感じとることの大切さ」
平成13年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成14年 1月18日	<p>第16回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定
平成14年 5月28日	<p>第17回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成14年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成14年 6月11日	<p>「環境を考える府民のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式・受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「大阪の水、世界の水ー第3回世界水フォーラムの役割」

平成14年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成15年 1月21日	第18回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成15年 5月19日	第19回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成15年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成15年 6月15日	環境を考える府民のつどい ～おおさか環境賞表彰式・グリーン購入シンポジウム～ <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ グリーン購入シンポジウム 基調講演「私のグリーン購入」 グリーン購入について(解説) パネルディスカッション「グリーン購入が創る持続可能な社会」等 ・ 環境配慮型商品等展示会
平成15年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成16年 2月10日	第20回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成16年 6月 1日	第21回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成16年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成16年 6月25日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「環境にやさしいライフスタイルとふろしきの活用」
平成16年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成17年 1月31日	第22回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成17年5月31日	第23回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成17年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞実施要領」改正の決定 等
平成17年6月18日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「わたしのスローライフ」 ・ 取組報告「企業の立場で進めるエコライフについて」他、意見交換等
平成17年6月20日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「私と自転車と地球のいい関係」、演奏会
平成17年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成18年2月8日	第24回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成18年度府民会議事業（案）について
平成18年6月6日	第25回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成18年度府民会議事業の決定

平成18年6月27日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境保全活動の取組み報告 ・ 講演「企業の環境問題への取組みに貢献するエコファンドについて」 ・ 講演「地域に密着した環境銀行の取組み」
平成18年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成19年2月6日	<p>第26回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成19年度府民会議事業（案）について
平成19年6月7日	<p>第27回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成19年度府民会議事業の決定
平成19年6月26日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境活動提案公募型補助金事業、環境教育推進モデル地域事業の取組み報告 ・ 講演「NPO等におけるマネジメントについて」
平成19年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン ～グリーン購入／NO!!包装キャンペーン～の実施
平成20年1月24日	<p>第28回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成20年度府民会議事業（案）について
平成20年9月8日	<p>第29回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成20年度府民会議事業の決定
平成20年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成21年2月10日	<p>第30回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな環境づくり大阪府民会議の運営（案）について ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成21年度府民会議事業（案）について
平成21年6月17日	<p>第31回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成21年度府民会議事業の決定
平成21年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年1月20日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」 ・ 事例発表 阪急阪神ホールディングス(株) 他
平成22年2月8日	<p>第32回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成22年度府民会議事業の決定
平成22年6月29日	<p>第33回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府民会議規約の一部改正 ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「環境壁紙コレクション事業」について
平成22年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年12月14日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「信念に基づいてグリーン購入し、低炭素革命を進めよう！」 ・ 事例発表 JAたじま（たじま農業協同組合） 他

平成23年2月8日	<p>第34回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の選定結果について ・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成23年度府民会議事業の決定
平成23年6月28日	<p>第35回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電の取組みについて ・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業について ・ “かんきょう交流Room” 掲示板「エコ交流ボックス」の閉鎖について
平成23年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成23年11月30日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「3.11後のグリーン購入」 ・ 事例発表 佐賀市、帝人ファイバー(株)、(株)タカラトミー
平成24年2月9日	<p>第36回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定 ・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成24年度府民会議事業の決定 ・ 府民会議の組織変更及び府民会議規約等の一部改正
平成24年6月28日	<p>第37回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換 ・ 今夏の節電対策について

豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページ

かんきょう交流Room

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

かんきょう交流ルーム

検索

- “かんきょう交流Room”は、豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページです。
- 「豊かな環境づくり大阪行動計画」のページでは、本冊子の内容に加えて、府民会議の各構成団体が実施している実践活動について個別具体的に紹介しています。
- また、府民会議が主体となって実施している事業についてもその内容を詳しく紹介しているほか、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」も掲載しています。
- 是非、“かんきょう交流Room”をご覧ください、本冊子と併せてご活用ください。



豊かな環境づくり大阪府民会議 平成 24 年 6 月

事務局：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 22 階

TEL 06(6210)9549 FAX 06(6210)9551